

会長のページ 激甚災害・戦陣医学（医療）	河野 雅行	3
日州医談 日本医師会 第1回未来医師ビジョン委員会に参加して	大塚康二郎	4
エコー・リレー（561）	伊達 晴彦, 海老原枝美	7
メディアの目 アフター・コロナ, アフター・ウォー	内倉 孝之	8
身近なお困りごと相談室		9
国公立病院だより 宮崎県済生会日向病院	林 克裕	14
宮崎大学医学部だより（宮崎大学附属図書館医学分館）	澤田 浩武	16
専門分科医会だより（外科医会）	白尾 一定	17
診療メモ 泌尿器科におけるロボット支援下手術の現状	黒岩顕太郎	50
宮大医学部学生のページ		
2021年度国家試験の結果報告と課題	阿萬 樹生	52

あなたできますか？（令和2年度医師国家試験問題より）		6
宮崎県感染症発生動向		10
各郡市医師会だより		12
各種委員会（宮崎県医師会医学会役員会）		18
日医インターネットニュースから		20
医師協同組合だより		22
医師国保組合だより		24
会員の異動・変更報告		30
理事会日誌		32
ベストセラー		36
県医の動き		38
ドクターバンク情報		39
行事予定		45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		47
あ と が き		60

お知らせ 地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について		18
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置		19
「はまゆう随筆」原稿募集		29
医療勤務環境改善支援センター		37
日州医事へのご意見・ご感想		43
第23回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！		49
郡市医師会への送付文書		54

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

こいのぼり

毎年5月になると、家族で都城市庄内町のこいのぼりを見に行きます。数えきれないくらいのこいのぼりが青空を気持ちよさそうに泳いでいます。このこいのぼりたちは何年か前に各家庭ですでに泳いだもので、こいのぼりの横にそれぞれその子どもの名前が書いてあります。子どもたちが健やかにのびのびと育てて欲しいという親の願いが込められているのです。親のそんな願いが込められたこいのぼり、今年もまた大空を泳いでいることでしょう。また今年も見に行きます。

たに ぐち じ ろう
宮崎市 谷 口 二 郎

会長のページ

激甚災害・戦陣医学（医療）

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

1月下旬、宮崎県～大分県にかけて比較的大きな地震がありました。その後、3月には東北地方で再度大きな地震があり被害が出ました。相互の関連は不明ですが、南海トラフのリスクは高まってきているようです。霧島新燃岳も噴火警戒レベルが引き上げられました。

2月下旬に始まったロシアのウクライナ侵攻を見て、国際社会では理不尽で非道な力が働くことが分かりました。戦争を避け外交で解決するとの我が国の方針は素晴らしい。しかし、これは幻想なのか単なるお題目に過ぎないのでしょうか。理念どおりに解決できないのは外交当事者

の能力の問題でしょうか。話せばわかる国ばかりではなく、話すら通じない国もあります。更に、国際紛争は国連が仲裁するとの建前で、日本は国連至上主義を唱えていても、今回の戦争では国連が機能せずに有効な手が打てない状態です。国際問題においては理想と現実には大きな隔たりがあります。我が国も近辺にさまざまな危険因子があり、他人ごとではありません。

このような場合、我々医師はいかなる対応をしたらよいのでしょうか。報道によれば劣悪な戦時環境下でも医師やスタッフは献身的に働いているようです。電気、ガス、水道が使えない、薬がない、医療機器が使えない、人手も足りない状態では困難であろうと推定されます。我々も激甚災害に対しての一応の備えはあります。震災や水害時などのDMATやJMATの活躍はよく知られています。九州医師会連合会では災害時における各県相互の医療救護協定が交わされています。日医でも全国に渡るシステムを構築しています。

しかし、今回のウクライナ戦争に見られる戦時下の医療が一般の災害医療と異なるのは、常に爆発や襲撃の危険下にあることです。恐怖に満ちた予測のできない環境下でも冷静に自分の仕事ができるのでしょうか。過去には我が国でも戦陣医学（医療）というものがあつたと聞きます。幸か不幸か平和な時代に教育を受けた我々はそのようなトレーニングを受けていません。いかなる状況下でも最善の医療を施すのが医師の務めですが、戦争のない日本では戦陣医療を実践で学ぶことが困難です。災害時に活躍するDMATやJMATに参加できる修練を積んだ医師は限られています。戦陣医療は無理でもせめて、緊急時医療のすそ野を広げるために、全医師が救急・災害医療の習得に努めるべきかと思われまます。全科に渡る習得が望ましいところですが、統一しての研修が難しければ、各科独自の救急・災害医療を学ぶ場を設けてはいかがでしょうか。 (令和4年4月15日)

日州医談



日本医師会 第1回未来医師ビジョン委員会に参加して

宮崎県医師会 理事 おお つか こうじろう
大 塚 康二朗

はじめに

未来医師ビジョン委員会は、全国から選出された30～50歳前の若手医師17人が、日本医師会長からの諮問に対し、1年間を通し議論、検討を重ね答申を作成していく委員会である。令和3年1月13日に中川会長より「社会の変化に対応し続ける医師会であるために」という諮問をいただき、計7回開催された。本委員会は、コロナ禍であったため、すべてWeb開催となり当初予定されていたさまざまな業界の有識者との協議は実施されなかった。令和4年5月に総論・各論を作成し答申としている。

今回の委員会の特徴・討論内容

本委員会の歴史は、平成10年の坪井会長の時代に遡る。2年おきに計3回実施され、9年間のブランクの後、横倉会長時代の平成23年から計4回実施され、ほぼ同じ形式と聞き及ぶ。私は令和1年第4次委員会から参加しているが、その時のビジョン委員会との大きな違いは、違う分野の有識者との議論ができなかったこと、そしてWebにて委員それぞれが各々の立場で現状・未来への展望を語り、委員間で意見交換することが中心となったことであった。多くを述べたいところであるが、今回は目新しい議論を記述する。大学院で臨床研究の解析・教育を行っている先生は、診療行為やプライマリーケア

分野においてアウトカム重視型データベース研究の推進が重要であると述べられた。これは少ない医療資源を効率よく配置することが可能になることが期待されるが、それには大学間、都道府県行政の連携が必須とのことであった。訪問診療を中心に行っている先生の中には、働き方改革も見据え、かかりつけ医体制を主治医・副主治医制としていた。そのために多職種連携、ICTの普及で情報共有することで時間の調整も図り、医療従事者のQOLを考慮するチーム作りを進めていた。しかしおおむね順調であるものの患者や地域の医師の理解を得るのには苦慮しているとのことであった。また複数の医師からは、コロナ禍で外来患者が減り経営が苦しくなった現状において、今日の患者を外来で多く診ることによって収入が得られる診療報酬体系から、予防医療（公衆衛生、保健指導）を行うことに焦点を当てた診療報酬の評価の在り方も検討すべきではないか？との意見もあった。

つまり若手の医師においては、少子高齢化、人口減少、医療従事者の偏在、働き方改革などを考えた時に、現状の医師の働き方や医療制度の変革が重要と考えている。IoTを標準装備とした、いかに効率よく、かつ時流に即した体制を作ることが肝要であり、日本医師会として国に働きかけていく必要性を感じている。

Web開催における利点と欠点

利点として、すべての会議に共通することであるが、移動時間がほばないため診療を休みにする必要はなく入院患者の急変対応の心配もなかった。社会経済は減退することになったが、個人の経済的負担は減少した。また欠点にもつながるが今後のオンライン診療の課題が実感できた点は良かった。では欠点かというと圧倒的なコミュニケーション不足を感じた。対面会議であっても委員17人で議論するには2時間という会議時間は短い。対面であれば発言に対して機微な表情の変化やしぐさ、空気の変化で賛同か否かを感じ取り、発言しながら多少修正できていた。また休憩時間の個人的な雑談や会議後の懇親会での意見交換会があることで、1対1または少人数で意見をぶつけ合うことにより発言の意図や思いが伝わり相互理解ができた。しかしWeb会議の場合、議事録に沿って一通りの意見を述べた後に、その後の自由討論のハードルが高く感じた。二言三言の賛否の発信するのにパソコン上の発言合図を出すことに躊躇を感じる。そして会議を終えた後、退席をクリックすると一気にその空間は閉ざされる。その時生じた疑問や聞きたいことは次の委員会まで持ち越しになる。そのときのモヤモヤした感情を抱くのは私だけだったとは思えない。自分の発言した内容が参加した委員や事務局にどう伝わっているのか分からず、かつ言い間違いもしている可能性もある。そして今後Web発信に抵抗のない発言ができる人の意見が中心になることが危惧される。

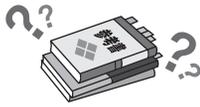
オンライン診療の課題

コロナ禍の影響もありオンライン診療の適応

範囲が広がり、更に時限的なものから恒久的なものに進む可能性がある。今回の委員会を通して、私は初診からのオンライン診療の適応は十分な議論がなされるべきとあらためて感じた。今回の委員会メンバーは、半数が前回の委員経験者であった。1年を通じ対面でさまざまな議論を交わした彼らの意見はその人間性も含め判断することができた。しかし今回初めてお会いする方々はどうかであっただろうか？ 短時間の画面上の所作や雰囲気、その人物像を判断していたのではないか？ 今回のことを通じ、オンラインで初めて会う患者さんに処方や診断をする際に、対面診療と同等の適切な対処ができるとは思えない。もしできるというのであれば、それは今までの医師患者の関係性とは違うステージのことであろう。あらゆる分野でデジタルトランスフォーメーション（DX）は必要である。そして医療分野においてもIoT、ICTの進化は必須になってきている。我々医師はそれらの意味するところを十分に理解し、医師法の原点を忘れず国民の健康に寄与しなければならない。

今後の将来ビジョン委員会

一般のコロナ禍で、図らずもデジタルに抵抗のあった世代もIoTに関わることとなり、デジタルへの利便性・必要性の認識は高まったと考える。しかし本委員会でも感じた都市と地方との医療資源の格差によるさまざまな課題は依然として変わらない。前回の委員会で各ブロックに同様の委員会を作ることが推奨された。現在県を越える往来に関して各自自治体で厳しく管理されているが、解除の暁には、若手の先生方の意見をまとめ日本医師会に集約できるシステム作りに期待したい。



あなたできますか？

—令和2年度 医師国家試験問題より—

(解答は31ページ)

- 許容濃度で正しいのはどれか。
 - 労働者に悪影響がみられないと判断する濃度
 - 維持することが望ましいと国が定めた濃度
 - 食品添加物の1日当たりの最大摂取濃度
 - 作業場の管理区分決定のための濃度
 - 毒性が認められない最大生体内濃度
- 成人を対象としたインフォームド・コンセントについて正しいのはどれか。
 - 本人と家族の同意が必要である。
 - 患者は同意をいつでも撤回できる。
 - 予後についての説明は必要でない。
 - 医師の過失責任を回避する目的で行う。
 - 最新の治療法を推奨しなければならない。
- 医療事故の発生要因であるヒューマンエラーの防止策として適切でないのはどれか。
 - 医療安全を確保するための研修制度
 - 各種マニュアルの定期的な見直し
 - 有能な人材への業務の集中
 - 危険予知トレーニング
 - 指さし呼称確認
- 日本人の食事摂取基準について正しいのはどれか。
 - 個人には適用されない。
 - 65歳未満を対象とする。
 - 妊娠や授乳期間については扱わない。
 - 目標とするBMIは18～20の範囲である。
 - エネルギーと栄養素の摂取量の基準を示すものである。
- がん検診を規定している法律はどれか。
 - 健康増進法
 - 健康保険法
 - がん対策基本法
 - がん登録推進法
 - 高齢者医療確保法
- 我が国の世帯構成について正しいのはどれか。
 - 世帯数は増加傾向にある。
 - 三世帯世帯は単独世帯より多い。
 - 単独世帯は核家族世帯より多い。
 - 65歳以上の者のみの世帯は全世帯の過半数を占める。
 - 核家族世帯の中ではひとり親と未婚の子のみの世帯が最も多い。
- 平均寿命を表す数値はどれか。
 - その年の死亡者の年齢の平均値
 - その年の最も死亡率の高かった年齢
 - その年に最も多くの死亡者がいた年齢
 - 生命表から作成した生存率曲線下の面積
 - 生命表から算出した生存率が50%になった年齢
- 栄養と病態の組合せで正しいのはどれか。
 - アルコールの摂取 ———— 尿酸の排泄低下
 - 高い糖質摂取割合 ———— 体重の減少
 - 2週間の絶食後の輸液 — マラスムス
 - タンパク質の過剰摂取 — 胆石形成
 - 動物性脂肪の過剰摂取
————— 血中LDLコレステロールの低下
- 36歳の初産婦(1妊0産)。妊娠40週0日に陣痛発来のため入院した。続発性微弱陣痛で分娩が遷延したため、オキシトシンで陣痛促進後、吸引分娩となった。児は、3,800g、女児で、Apgarスコアは8点(1分)、9(5分)であった。児娩出後30分経過したが、胎盤が自然に娩出されず、出血が持続するため、用手剥離を行った。胎盤娩出後も子宮からの出血が持続しているため、子宮を双手圧迫している。母体は顔面蒼白で冷や汗をかいているが、意識レベルは正常である。体温36.9℃。心拍数120/分、整。血圧80/40 mmHg。
ここまでの出血量の推定値はどれか。
 - 500 mL
 - 1,000 mL
 - 1,500 mL
 - 2,500 mL
 - 4,000 mL
- 48歳の女性。不正性器出血を主訴として来院した。検査の結果、子宮頸癌と診断し、開腹による広汎子宮全摘術を行った。既往歴に特記すべきことはない。身長164cm、体重58kg。術中出血量は620mL。陰断端は縫合閉鎖し、骨盤底にドレーンを留置して閉腹した。
ドレーン留置により早期発見できるのはどれか。
 - 術後出血
 - 腸管癒着
 - 神経因性膀胱
 - 骨盤内の癌再発
 - 深部静脈血栓症

エコー・リレー

(561回)

(南から北へ北から南へ)

コロナ禍にて

だ て はる ひこ
 都城市 伊達クリニック 伊 達 晴 彦



コロナ感染症で日常診察が変わりました。診察室ではお互いマスク越しにしか会話せず、マスクに隠れた顔貌や表情は見ず、触らず、温かみのないマスク診察に慣れてしまいました。

こんな診察に疑問を感じていましたが、コロナ感染症対策と言いつつ、いつの間にか手を抜いて診察している自分がいました。よし明日からは、せめて一瞬でもマスクを外してもらい、患者さんの顔全体を見て診察しようと今、改心しました。

講演や会議はコロナ感染症対策で、オンライン参加が増えました。当初は会場から部屋が覗かれそうで不安でしたが、慣れるととても便利です。東京や大阪まで強行軍で参加していた学術総会も、自宅参加ができ驚くほど楽になりました。趣味の映画やドラマ観賞も、Netflixなどの動画ネット配信で、常時可能になりました。これも格段に進歩したインターネットのおかげです。この能力は、単なるコロナ感染症対策に留まらず、日常診療自体をオンライン化へ進化させてくれるでしょう。

今回の診療報酬改定でもオンライン診療に加点が付き、国として舵をきった感があります。コロナ感染症でさえ手を抜いてしまった自分が言うのはおこがましいですが、今まで築いてきた深く丁寧に診察する医師の姿勢を守り、患者のかもし出す雰囲気を読み取れるような、オンライン診療の構築を期待します。オンライン診療になっても、今度こそは手を抜かない診察をしたいと思っています。

[次回は、西都市の久保 恵是先生をお願いします]

ジャーナーの法則

えびはら え み
 宮崎市 海老原クリニック 海老原 枝 美



春分を迎え、満開の桜を前に原稿を書いています。掲載されるころには新緑のまぶしい季節になっているでしょうが、今回は桜にまつわる思い出を綴ることにしました。

小学校にあがるころ、家の近くの桜の木を前に一年後はどんな気持ちでこの花を見るのだろうかと思つたことがあります。当時の私にとって一年というのは大変長いものでしたが、年々桜の季節が巡ってくるのが早く感じるようになりました。

大学入学前に一年間浪人生活を送ったのですが、東京暮らしが楽しみで浪人の身とは思えないほどワクワクしていました。それなのに引越を手伝ってくれた母がいざ宮崎に帰る時、もう親元で暮らすことはないかもしれないと急に心細くなり涙が出てきました。同じ高校から進学のため上京していた友人数人と石神井川沿いの桜並木で集合し、これからの生活を励ましあったことをついこの間のように思い出します。桜が散るころにはすっかり一人暮らしにも慣れ、一年はあっという間に過ぎました。

もう近くで暮らすことはないかもしれないと思つた親と一緒に働く日がくるとは当時は夢にも思いませんでしたが、現在週に一回いしかわ内科でも勤務しております。患者さんに昔の母にそっくりだとよく声をかけていただくのですが、私が桜を見ながら一年後に思いを馳せていた当時の母の年齢にいつの間にか追いついたことに気が付き、時が経つのはやはり年々早く感じるものだと思つて今日このごろです。

[次回は、日南市の高橋 尚宏先生をお願いします]

メディアの目



アフター・コロナ，アフター・ウォー

南日本新聞 宮崎支局長

うち くら たか ゆき
内 倉 孝 之

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてから丸2年が過ぎた。1年前、宮崎市に赴任してきた際は、コロナの第5波、第6波のまっただ中で暮らすことになるとは思ひもしなかった。期待していたニシタチの夜をいまだ十分楽しめていないのが残念だ。

コロナの初期のころは、感染者への誹謗中傷や県外ナンバーへの非難、マスク警察など、「得体の知れないもの」へ皆が恐怖を抱き、過剰な反応をしていた。2年目ともなると、経験を重ね知見を得ていくに連れ、恐怖心は薄らいできたと思うものの、気の緩みが目につくようになった。

コロナの時代は生活様式を様変わりさせたように感じる。インターネットを活用した「オンライン〇〇」の浸透だ。大学生は授業や就職活動などでオンラインが定着。コンサートや演劇もオンライン開催が増えた。出張や会議をオンラインで行ったり、リモートワークを進めたりする企業も多くなった。「飲み」も大きく変わった一つと思う。シートを広げて多人数でにぎわう桜の花見の風景は3シーズンも目にしていない。わが社での歓送迎会、忘・新年会もオフィシャルではこの2年、開いていない。そもそも、「外で酒を飲む」という行為が、必要不可

欠なのか迷いがあるのが正直な気持ちとってきている。それぞれメリット、デメリットがあるが、時代が確かに変わってきているという実感がある。

そして「国際化社会」ということもコロナはより強く感じさせる。世界的な流行で輸出入が停滞し、半導体などのサプライチェーンに大きな影響が出た。自動車では納車が数年待ちとなっている車種もあるという。

まん延防止等重点措置が解除された全国の観光地がにぎわう様子がニュースで流れたが、外国人の姿は見当たらない。コロナ前は中国などを中心としたインバウンド需要で、観光地はどれも外国人があふれ、免税店が驚くほどにぎわっていた景色と隔世の感がある。

そしてここに来て、コロナ過に戦禍が加わった。ウクライナとロシアの戦争は日本が影響を受けないわけにはいかないということを如実に示した。世界はコロナを経験し、21世紀になっても戦争を目の当たりにし、インターネットが不可欠の存在となった。「コロナ後」、「戦後」の世界はどうなっていくのか。戦争の時代といわれた昭和。平成は災害の時代ともいわれた。令和をどのような時代と後世は評価するのだろうか。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第7回 スタッフの不祥事に対する損害賠償請求について

**Q.**

在宅医療や施設などで患者を診ている際に、提出すべき報告書などの文書が事務員のミスで提出されていなかった場合に、管理料などが請求できずに医療機関が数百万単位で損失をこうむった際、事務員個人に賠償責任が問えるものでしょうか？

まず、使用者と事務員は雇用契約を締結していることから、事務員は指示を受ける業務に関して適切に処理をすべき義務を負っています。そのため、事務員が漫然と必要な業務を行わなかったことにより医療機関に損害を与えた場合、賠償責任を問える可能性があります。

その一方で、雇用契約においては、使用者は労働者が勤務することにより利益を得ている以上、労働者による一定程度のミスによる損害も受け入れるべきという報償責任の原則という考え方が存在します。そのため、事務員による軽微なミスを含めたすべてのケースで賠償を請求することはできません。

したがって、何度も注意をしたにも関わらず同様のミスを繰り返した悪質なミスや、明確な業務命令違反など、悪質なケースに対してのみ賠償請求できるとお考えください。

また、その場合でも横領などの犯罪行為以外では損害額のすべてを請求することはできません。請求できる賠償額はそのミスの悪質さによって変動しますが、目安としておおむね損害額の50%までが法律上認められる上限額とお考えください。

なお、労働者のミスに対する損害賠償と給与を相殺するケースが見られますが、これは違法となる可能性が極めて高いので行ってはなりません。労働者に対する賠償請求およびその支払については、給与の支払とは別に行うようにしてください。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～3月～

令和4年2月28日～令和4年4月3日（第9週～第13週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核8例（男性3例・女性5例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。
- 3類：報告なし。
- 4類：報告なし。
- 5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として尿路感染症がみられた。
- 侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，主な症状として頭痛，発熱，全身倦怠感，嘔吐，意識障害，項部硬直，髄膜炎，菌血症がみられ，ワクチン接種歴は不明であった。
- 水痘（入院例）1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，主な症状として全身の膿疱，紅斑がみられた。ワクチン接種歴は無かった。
- 梅毒9例（男性6例，女性3例）：都城（4例），宮崎市（3例），延岡，小林（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は40歳代が3例，10歳代と20歳代が各2例，50歳代と70歳代が各1例であった。病型は早期顕症梅毒Ⅱ期が4例，無症状病原体保有者が3例，早期顕症梅毒Ⅰ期が2例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹がみられた。
- 播種性クリプトコックス症2例：宮崎市，延岡保健所管内から報告があった。年齢は30歳代と80歳代で，主な症状として頭痛，発熱，意識障害がみられた。
- 百日咳8例（男性1例・女性7例）：日向保健所管内から報告があった。70歳代，80歳代及び100歳代が各2例，50歳代と90歳代が各1例であった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，白血球数増多，肺炎等がみられた。ワクチン接種歴はいずれも不明であった。

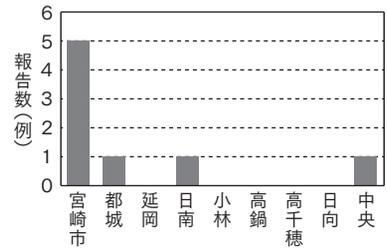


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
その他の結核（結核性胸膜炎，頸部リンパ節結核，左頸部リンパ節結核）	3
無症状病原体保有者	1

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	1
50歳代	1
80歳代	2
90歳代	4

■新型インフルエンザ等感染症

- 新型コロナウイルス感染症8,655例：保健所別，年齢別は【表3】のとおりで，主な症状として発熱，咳，頭痛，全身倦怠感，咽頭痛等がみられた。

■5類定点報告の感染症

- 定点からの患者報告総数は1,703人（定点あたり50.1）で，前月の103%，例年の61%であった。
- 前月に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で，減少した主な疾患はRSウイルス感染症，水痘及び手足口病であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は特になかった。
- RSウイルス感染症の報告数は305人（8.5）で前月及び例年の約0.9倍であった。延岡（29.3），中央（11.0），日向（9.8）保健所からの報告が多く6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。
- 感染性胃腸炎の報告数は1,147人（31.9）で前月の約1.1倍，例年の約0.9倍であった。都城（51.0），日南（44.7），日向，中央（35.0）保健所からの報告が多く，1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

		検出病原体	件
細菌		EPEC (OUT:H51)	1
		EPEC (OUT:H27)	1
ウイルス		コクサッキーウイルスA6型	1
		アデノウイルス1型	1

表3 新型コロナウイルス感染症 報告数(例)

居住地 保健所	報告数	年 齢 群										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代
宮崎市	3,070例	555	609	515	486	451	233	121	69	26	4	1
都 城	1,917例	400	404	236	304	271	118	74	55	39	15	1
延 岡	897例	182	154	103	151	124	67	44	28	26	17	1
日 南	258例	35	34	27	42	48	26	26	12	6	2	
小 林	303例	38	71	36	30	50	12	37	14	9	6	
高 鍋	834例	87	150	123	125	96	74	62	29	51	37	
高千穂	85例	20	10	5	14	11	9	13	3			
日 向	945例	127	149	150	123	133	103	60	45	40	14	1
中 央	263例	38	41	23	41	46	31	21	9	7	6	
県 外	83例	12	22	27	7	5	3	6	1			

■月報告対象疾患の発生動向(2022年3月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は42人(3.2)で、前月比89%と減少した。また、昨年3月(3.4)と同程度であった。

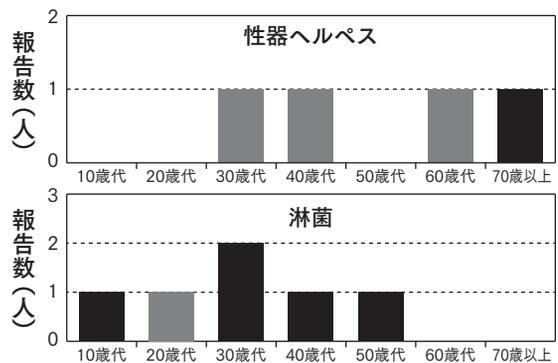
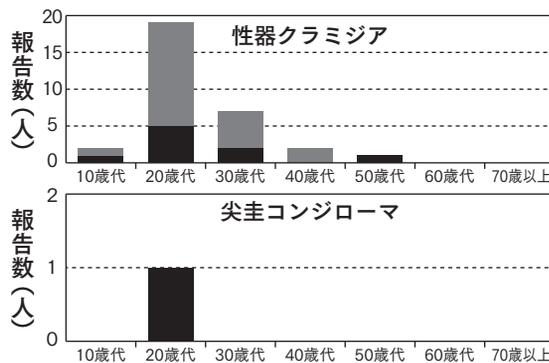
《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数31人(2.4)で、前月及び昨年3月の約1.4倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。(男性9人・女性22人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月及び昨年3月の約0.4倍であった。(男性1人、女性3人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年3月の約0.3倍であった。(男性1人)
- 淋菌感染症：報告数6人(0.46)で前月の約0.4倍、昨年3月の約0.8倍であった。(男性5人・女性1人)

前月との比較

	2022年3月		2022年2月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	2	0.0	9	0.2	
RSウイルス感染症	305	8.5	355	9.9	
咽頭結膜熱	38	1.1	42	1.2	
※溶レン菌咽頭炎	81	2.3	61	1.7	
感染性胃腸炎	1,147	31.9	1,063	29.5	
水 痘	10	0.3	19	0.5	
手足口病	3	0.1	17	0.5	
伝染性紅斑	3	0.1	1	0.0	
突発性発しん	87	2.4	59	1.6	
ヘルパンギーナ	2	0.1	3	0.1	
流行性耳下腺炎	5	0.1	2	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	20	3.3	19	3.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



□薬剤耐性菌

■男 ■女

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で、前月比79%と減少した。また、昨年3月(1.9)の約1.5倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人(2.7)で、前月の約0.8倍、昨年3月の約1.5倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各都市医師会だより

西都市西児湯医師会

1. 当医師会地域での新型コロナワクチンの接種状況について報告いたします。

1回目接種率87.4%，2回目接種率（1回目接種者のうち）99.4%，現在，3回目を施行中で4月1日時点で（2回目接種者のうち）51.2%となっております。予約受付状況としては集団接種より個別接種を希望される方のほうが多いですが，予約の進み具合は鈍い状況です。また，ファイザー社ワクチンの希望が多いです。小児（5歳～11歳）に対するワクチン接種は3月17日より開始しました（約1,550人）。

3月の初めに家族で2か月ぶりに食事に行きました。密を避けるため17時頃行ったのですが，店の中では，若い人たちが騒いでいたため30分ほどで店を出ました。店も黙食という張り紙だけで何も注意もせずそのままの状況でした。この状況なら宮崎県では感染者数は減らないかと思っていましたが，やっぱり県内感染者は200～300人台です（5月号が出るころは減っていることを祈っています）。

2. 西都児湯医療センターについて

理事長解任を巡る問題では，福岡高裁宮崎支部は濱砂重仁理事長への解任処分を停止した宮崎地裁の決定を支持し，西都市が提出していた即時抗告を棄却しました。

新しい市長になって1年3か月ほどになりますが，西都市とはなかなか歩み寄ることができていない状況です。濱砂理事長体制のもとで大学や他の医療機関の支援により診療体制は少しずつ充実してきています。4月からは呼吸器内科の常勤医師が着任されることになり，新型コロナ感染症などに対応する態勢が強化されることになりました（常勤医師は5人体制で外科2人，整形外科2人，呼吸器内科1人になります）。

また，外来診療科として脳神経内科を開設することになり週2回，脳疾患患者の診療が始まります。

医師会としても西都市としっかり話し合いをしながら，市民にとって安心できる医療を提供していきたいと思っております。

3. 3月27日，24年ぶりに西米良村長選挙が行われました。

黒木定蔵村長さん，医師会に今までご協力いただきありがとうございました。お疲れさまでした。新しい村長としっかりタッグを組んで村民の健康を守っていききたいと思えます。

（鶴田 明士）

宮崎市郡医師会

宮崎市郡医師会では，医師会病院が昨年度基幹型臨床研修病院に指定され，今年度から初期研修医1名を受け入れています。令和6年4月に適用される医師の働き方改革制度の集中的技能向上水準（C水準，時間外：年1860時間/月100時間以内）を達成するため，令和3年度に医師会病院勤務医全員にアンケート調査を行いました。時間外の多い診療科について学会準備等の自己研鑽との区別が難しい実態がわかり，社会保険労務士と相談しながら医師等勤務時間短縮計画の作成に取り組むこととなります。

（市来 能成）

都城市北諸県郡医師会

まん延防止は解除されましたが，依然として感染者数は高止まりをしており，医師会病院でも10名以上の入院を受け入れています（3月8日現在）。以前と違い高齢者が大部分を占め，重症者の方はいませんが，認知症のため意思疎通が困難であったり，食事や排泄の介助など，看護ではなく介護の面が強く看護師の皆さんは苦労されています。一日も早い感染の終息と新たな変異株が出現しないことを祈っています。

（濱田 圭一）

延岡市医師会

コロナ禍となって2年が過ぎました。ワクチンの3回目接種事業も進んでいますが、終息に向けた道筋が全く見えません。病院や施設での面会も制限されたままです。その反動もあって、在宅医療や在宅看取りを希望される患者さんが“激増”しています。病む人にとって、住み慣れた場所で過ごすこと、最期の瞬間に愛する家族と一緒にいることがどれほど大切かということを実感させられます。急な依頼であっても、“その人らしい人生”を全うするお手伝いができるように、当地でも病院・在宅・看護・介護の連携をさらに深めていきたいと思えます。この関係は“密”が求められますので…。

(榎本 雄介)

日向市東臼杵郡医師会

当医師会では3月19日(土)に会員の出席を求め、臨時総会を開催することができました。2年毎に開催している臨時総会は、当医師会の今年6月以降の執行体制を編成する役員選出が主な議題となるため、今回、会員の先生の投票によって新たな役員が選出されました。なお、総会当日、まん延防止等重点措置は解除されましたが感染者数が高止まりだったため、総会終了後に予定していた懇親会が次の機会に見送られたことは非常に残念でした。ご協力いただいた会員の先生方に感謝申し上げます。

(千代反田 晋)

児湯医師会

看護師養成を終了する医師会が増えています。児湯医師会では、准看護師学校を経営し続けています。この3月には12名の卒業生があり、2月15日に宮崎県准看護師試験を受験しています。令和4年度の入学生ですが、社会人入試で7人、一次募集で2人、二次募集で1人、合計10人の合格者がありました。定員は20

人ですので、欠員を減らすべく三次募集を予定しています。

毎年多くの赤字があり、補填するための積立金もどこまでもつか心許ない状況ですが、看護師を希望する学生がいる限り、その希望に応えようと専任教員、医師会員一同で情熱をもって教育にあたっています。

(大森 史彦)

南那珂医師会

南那珂地区(日南市、串間市)からのドクターヘリ運航は、2021年1月1日~12月31日中は、要請50件、実働40件でした。9日間に約1件搬送されていることとなります。宮崎市方面への陸上のアクセスがよくなれば、医療における利便性も向上すると思われれます。2022年度中には、東九州自動車道清武南インターチェンジ~日南北郷インターチェンジ間(17.8km)が開通する見通しとのことです。これにより約13分短縮されるといわれています(現在の日南市消防本部から宮崎大学医学部附属病院までの所要時間は制限速度走行で約48分)。宮崎大学医学部附属病院を始め、高度医療施設への受診がしやすくなることが期待されます。

(山見 信夫)

西諸医師会

去る3月15日、令和3年度宮崎県准看護師試験合格発表の日でした。小林准看護学校62回生全員合格、おめでとうございます。昨年度の入学生を最後に閉校が決まっている同校で、母校がなくなるのは一抹の寂しさはあるかと思いますが、素晴らしい医療人となってくれることと信じております。まだまだ新型コロナウイルスが蔓延している中、現場へ出て行くのは不安や心配もあるでしょうが、皆さんは一人ではありません。希望をもって新たな新生活を楽しんでください。

(川井田 望)

国公立病院だより

宮崎県済生会日向病院



はやし かつひろ
林 克裕 院長

1. 宮崎県済生会日向病院の歴史

平成30年、済生会日向病院（日向病院）は60周年を迎え、済生会フェアを開催しました。

日向病院の歴史は昭和10年12月、済生会延岡診療所に始まり、昭和13年

11月、済生会延岡病院を経て、昭和24年12月、宮崎県立延岡病院に吸収されました。昭和33年、日向病院が門川町に開設され、昭和35年、162床に増床後、昭和63年、新病棟が216床で建設され、平成27年、新外来棟が完成し、現在に至っています。

2. 公立・公的医療機関等2025プラン

2017年4月、朝日新聞に『入院ベッド15万床削減』の衝撃的な記事が掲載されました。2025年、団塊の世代が後期高齢者となり、医療や介護ニーズが飛躍的に高まるため、地域医療の提供体制の再編が必要となります。都道府県は『2025年における高度急性期、急性期、回復期、慢性期の機能別の必要病床数』をまとめた地域医療構想を策定し、民間病院に先立ち、公立・公的医療機関は2025プランを提出しました。厚生労働省は再編統合の必要な424の医療機関名を公表し、宮崎県では7つの医療機関が対象となりました。幸い、日向病院は再編統合の対象外でしたが、病院の存続が保証された訳ではなく、公的医療機関としての社会的責務がこれまで以上に問われる時代になりました。

3. 公立・公的医療機関としての存在意義

公立・公的医療機関の役割は民間病院では担えない医療、1) 過疎地での医療、2) 不採算・特殊部門の医療、3) 高度先進医療を行うことです。日向入郷地域は過疎地ではありませんが、

日向病院は長年に渡り地域に根づき、地域の中核病院として、なくてはならない存在となっております。不採算部門である小児科病棟の開設や県北の医療機関にはない神経難病や難聴外来などの特殊医療も行っています。

4. 感染症指定病院としての役割

日向病院は日向入郷地域の唯一の感染症指定病院（指定病院）として、4床の陰圧部屋を整備していましたが、陰圧部屋が各病棟の中央に位置している建物上の構造的欠陥や感染症専門看護師の退職のため、指定病院の返上を検討していました。その矢先、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が発生しました。令和元年12月、外来に帰国者・接触者用の感染症専用診察室を設置し、日向入郷地域の鼻咽頭スワップのPCR検査を一手に引き受けました。令和2年5月からは18床のCOVID-19専用病棟を開設し、入院患者の診療を行いました。令和3年10月から感染症・呼吸器専門医が赴任し、COVID-19後遺症の患者にも対応しています。日向病院だけでなく、COVID-19の入院治療では公的・公立医療機関が重要な役割を果たしました。その中には2025プランで再編統合となった医療機関も多く、COVID-19収束後の新興感染症に力点をおいた再編統合の議論が必要になると思います。

表1. COVID-19の入院患者実績（人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R2					0	0	9	17	0	0	1	0	27
R3	12	0	0	16	10	0	4	37	16	12	0	0	79
R4	18	18	36										72

5. 公立病院と公的病院の違い

公立・公的病院の役割を果たすには健全な経営基盤が不可欠になります。民間病院に比べると税制面での優遇はありますが、公立病院と公的病院の財政支援には雲泥の差があります。多くの方が誤解されていますが、済生会病院や日赤病院などの公的病院には公立病院のような自治体からの繰入金金の投入（2017年度実績；8,083億円）は一切なく、独立採算性です。更に、済

生会病院には設立理念を具現化するために、経済的な事情で必要な医療が制限されることのないよう医療費を減免する無料低額診療事業などの責務もあり、経営上の大きな負担となっています。

6. 脳神経外科医の派遣打ち切り

令和2年4月、産業医科大学脳神経外科教室から医師の派遣が打ち切られ、脳神経外科閉科により二回目の存亡の危機を迎えました（一回目は平成17年度の新臨床研修制度にともなう内科医の退職による内科病棟閉鎖）。横田元院長が産業医科大学脳神経外科出身のため、退職後にこのような事態が起きることは想定内でしたので、収益増の種々の対策に取り組んでいました（既存診療科の充実、泌尿器科領域の手術、内視鏡室増設、訪問診療・看護・リハビリの強化、居宅支援事業の開設、地域包括ケア病棟の開設、骨密度検査、薬剤師による在宅医療や通所リハビリの強化など）。しかしながら、脳神経外科閉科の減収を全てカバーすることはできないため、支出削減にも取り組みました。

7. 身を切る改革

済生会本部から日向病院の人員費が高いことが指摘されました。各部局の要求通り増員を行った結果、平成24年から平成30年にかけて、職員数が72名増えていました。退職者の補充は原則凍結とし、各部局で補充に見合うだけの収益効果を徹底的に検証しました。その他、産休、病休の無給化、給与支給日の変更、仕事の効率化による時間外手当の削減、退職金の減

額、Low cost operationなどで支出削減を行いました。脳神経外科閉科だけでなく、新外来棟の多大な減価償却費のため、赤字が続きました。組合との話し合いで初任給の据え置き、昇給率の引き下げ、勤勉手当の減額などの身を切る改革を断行しました。

8. 医師不足

赤字経営から脱却するための戦略を練るには十分な戦力が必要ですが、日向病院には戦力となる医師が圧倒的に不足しています。平成30年に比べ、4名が減員となっています（増員は糖尿病専門医、脳神経内科、感染症・呼吸器専門医、小児科がそれぞれ1名。減員は脳外科3名、内科3名、外科と健診科が1名）。大学医局、民間の医師派遣業者などあらゆる伝手を使って、医師募集を行っていますが、思う様な成果は得られていません。そこで、令和2年度より宮崎県立延岡病院、令和3年度より宮崎県立宮崎病院の協力型臨床研修病院に、令和4年度より宮崎県キャリア形成プログラムの脳神経内科コース、古賀総合病院の内科専門医プログラムの教育関連施設に登録し、研修医や専攻医の受け入れを始めました。将来、日向病院で研修を受けた医師が常勤医として赴任してくれることを期待しております。

9. 山査子^{さんざし}の花

昨年末、山査子の苗木を病院の庭に植えました。山査子の花言葉は「希望」、「新しい光」で、花が咲く5月ごろ、日向病院に希望、新しい光が訪れることを祈っております。



病院航空写真



済生会フェアの様子

宮崎大学医学部だより

宮崎大学附属図書館医学分館



さわだ ひろたけ
澤田 浩武 分館長

1. 概要

宮崎大学附属図書館医学分館は、県内最大規模の医学図書館として、医学図書や医学雑誌を中心に、12万冊を超える図書、4千タイトル以上の雑誌を所蔵しています。また、

電子リソースの充実も図っており、6千タイトル以上の電子ジャーナルが閲覧可能になっています。更に論文検索データベースとして、MEDLINE Complete, CINAHL, 医中誌Web版, メディカルオンラインを導入しています。一方で、宮崎大学学術情報リポジトリを通じ、本学の教育研究成果を公開するなど、情報の発信にも携わっています。

2. 医学分館のリニューアル・学習支援の向上

医学分館は2020年1月にリニューアルオープンしました。「よき医療人材の育成と学生の視点に立った学習サポートの実現に向けて」をコンセプトに改修し、医学分館と福利施設を融合した学修環境の強化・拡充を行いました。1階は会話が可能な、オープン学修スペースで、用途に応じてフレキシブルに利用可能なラーニングコモンズ【動】としました。図書館から会話が聞こえてくる今までにない空間となりました。2階はこれまでどおり、静粛を保ち、集中して学修する個別学習室【静】としました(添付の二次元バーコードで動画(YouTube)をご覧いただけます)。この医学分館2階と学習支援エリアの福利棟2階を渡り廊下で連結しました。また、さまざまな雑誌や電子リソースを有効に利用できるように、医学分館利用係が情報検索ガイダンスを実施しております。

3. 松尾壽之博士の研究業績展示ブース

元宮崎医科大学長の松尾壽之名誉教授のこと

はご存知かと思いますが、有機化学の深い造詣を基盤に、ペプチド化学分野において独自の方法論を確立し、世界をリードする数多くの卓越した研究業績をあげてられました。その業績により日本学士院賞、武田医学賞、朝日賞など数々の賞を受賞され、2005年には瑞宝中綬章、更に2010年には文化功労賞を受賞されました。宮崎大学医学部では松尾先生の業績を顕彰し、2021年9月に松尾壽之博士の研究業績展示ブースを医学分館入り口に設置しました。このオープンセレモニーには松尾先生にもお越しいただきました。セレモニーの日は松尾先生の93歳の誕生日でしたが大変お元気でいらっしゃいました。

4. 新型コロナウイルス感染対策

現在、COVID-19対策により利用を制限しており、大変残念なのですが、宮崎大学医学部関係者しか利用できません(2022年3月現在)。医学部関係者のみが利用している現在、館内は徹底した感染対策を実施し、利用者自身によるマスクや消毒などの感染対策、館内スタッフによる清掃、消毒、個人の利用時間や利用機の記録、利用する機の制限と間隔拡大などを実施しております。今後、早急に皆様への図書館開放に努めてまいりますので、学部外の皆様のご利用は今しばらくお待ちいただきたく存じます。

宮崎大学附属図書館医学分館

E-mail:lib-med2@of.miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-85-9198

FAX:0985-84-1756



(YouTube)



専 門 分 科 医 会 だ よ り

(外科医会)

しらおか かずさだ
白尾 一定 会長

新型コロナウイルスの影響で、全国の多くの学会が中止あるいはWeb開催となっています。宮崎県外科医会の講演会もWeb形式での開催が主流となりました。一般外科診療への新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、手術の制限、家族内感染で職

員不足、外来での検査制限などがあります。実際に、院内クラスターが発生して、救急受入れや緊急手術の停止を余儀なくされた施設も多くみられました。

日本対がん協会は、がん診療への新型コロナウイルスの影響を把握するために、がん関連3学会（日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会）で、国内486施設を対象に5つのがん（胃、大腸、肺、乳、子宮頸）アンケート調査を実施、回答を得た105施設では、2020年のがん診断件数は8万660件で、2019年の8万8,814件より8,154件（9.2%）少なく、治療数（外科的・鏡視下的）も減ったことがわかりました。5つのがん別の診断数の減少幅は、胃がん13.4%と最大で、大腸がん10.2%、乳がん8.2%、肺がん6.4%、子宮頸がん4.8%でした（2021年11月18日日本対がん協会HPより）。新型コロナウイルス感染拡大により、がん検診をはじめ、各種健診が一時中止され、受診や通院控えなどにより健診や検査の機会が減少していることが原因です。今後、進行がんにて発見される症例が増えることが危惧されます。

宮崎県外科医会は、2022年4月1日現在、会員数は165名で、年4回の講演会、2回の社保指導を行っています。夏期講演会では、卒後5年目までの研修医と学生の発表の中から若手奨励賞を選考し賞状と金一封を贈呈しています。「熟練外科医から若手外科医へ」の講演も年2回開催し、外科医の魅力を発信しています。

その内容は、宮崎県外科医会HPに公開しています。講演会の内容を一部報告します。2021年10月22日秋期講演会特別講演会を開催しました。座長は宮崎大学肝胆膵外科教授の七島篤志先生、講師は鹿児島大学消化器・乳腺甲状腺外科の大塚隆生先生で「地域に根差した外科医の育成」について講演されました。外科医が減少している中で人材育成には、全人的教育、特に論理と感性が大切、歴史に学び国語を大切に。日常から感性を育てることで手術に応用できる。腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術（Lap-PD）を例に、剥離と受動、面を広く作る、手の使い方などを説明されました。2020年にはLap-PDを含むPDを74例施行されていました。手術時間の短縮、コスト意識を持った手術（止血用電気メス1本のみ）、ロボット支援手術のことなども説明されました。Generalistを基盤とした専門性を持った医師が地域に信頼される外科診療の提供を行うと自ずと患者さまが集まり、人材育成と社会への還元ができると講演されました。2022年2月28日冬期講演会を開催しました。座長は宮崎県立延岡病院の土居浩一先生と宮崎大学医学部外科学講座の池田拓人先生で、一般演題の内容は、右室孔壁解離を伴う心室中隔欠損、バレット食道癌、膵頭十二指腸切除、直腸腫瘍の腹腔鏡下手術、敗血症性ショック等を合併した非穿孔性虫垂炎、回盲部が嵌頓した右外鼠経ヘルニア、局所麻酔下胸腔鏡下肺瘻閉鎖術と幅広い発表でした。「熟練外科医から若手外科医へ」の講演は、南部病院の八尋克三先生で、“合併症発症時には、何度でも訪室し、正直に話して信頼関係を得る。先輩から多くの経験を聞くこと”などの大切さを教えていただきました。

2024年より働き方改革が本格化します。少ない外科医の中で、勤務時間インターバルなど実際に対応していけるのか心配ですが、地域医療に影響を及ぼさないことを願っています。

－ 各種委員会 －

宮崎県医師会医学会役員会

と き 令和4年3月17日(休)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本理事の司会により開会。河野学会長の挨拶に続き、報告、協議が行われた。

1 報 告

1) 令和3年度宮崎県医師会医学会について
令和3年9月4日(土)に「新興感染症に関する考察～新型コロナウイルス感染症～」をテーマに特別講演2題で開催した。

「数理モデルを用いた新型コロナウイルス感染症の流行制御」と題し、京都大学大学院医学研究科・医学部 環境衛生学 教授の西浦博先生に、もう1題を「新型コロナワクチン、接種をどう進めるか」と題し、京都大学大学院医学研究科 非常勤講師の村中璃子先生にご講演いただいた。総出席者は218名で、現地35名、Web183名であった。

2 協 議

1) 令和4年度宮崎県医師会医学会の開催について

令和4年9月3日(土)に県医師会館で開催する医学会のテーマや講師などについて各専門分科医会推薦の幹事から多数の案が出され検討を行った。

協議の結果1題は、新型コロナウイルス感染症の発見から2年以上経過し、これまでの整理が必要であることから「新型コロナウイルス感染症の総括」とした。もう1題は、近年地震が頻発し、南海トラフにおける地震発生の可能性も高まっていることから、「災害医療に関して」講演を行い、テーマを「新型コロナの振り返りと迫りくる危機に備えて」として企画することとした。

出席者

県医師会館－河野学会長、濱田・比嘉副学会長

弘野・佐藤・北村・黒岩・松・坪井・杜若幹事

小牧常任理事、嶋本理事

Web (Zoom)－室井・池井幹事、岩村理事
(県医) 牧野課長、弓削主事

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、令和4年5月1日から10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

お知らせ

宮崎県医師会・医師国保組合・
医師協同組合事務局職員配置

令和4年4月1日付の事務局職員配置をお知らせします。

県医師会

所 属	役 職 名	氏 名
事 務 局 長		竹 崎 栄一郎
事 務 局 次 長 (総括)		園 山 俊彦
総 務 課	課 長	久 永 夏樹
	課 長 補 佐	湯 浅 和代
	主 任 事	立 田 勝弘
	主 事	畠 中 まどか
	主 事	羽田野 悠 佑
経 理 課	課 長	松 本 優美
	主 事	本 崎 礼子
	主 事	松 崎 遥
	主 事	畠 中 麻有
学 術 広 報 課	課 長	牧 野 諭
	係 長	永 田 彰子
	係 長	渡 邊 純子
	主 事	弓 削 圭介
	主 事	桑 山 大吾
地 域 医 療 課	主 事	平 川 ゆう子
	課 長	野 尻 早苗
	係 長	田 崎 圭一郎
	主 事	横 山 葵
	主 事	神 園 桃子
主 事	荒 川 幸亮	
臨 時 職 員		吉 良 美人子

県医師国保組合

事 務 局 長	竹 崎 栄一郎
事 務 長	杉 田 秀博
係 長	串 間 恵子
主 事	福 田 里紗
主 事	前 田 真由

県医師協同組合

事 務 局 長	竹 崎 栄一郎
事 務 長	小 川 道隆
保 険 課 長	大 野 正博
購 買 課 長	鳥井元進一
係 長	安 井 順子
係 長	堀 口 美香
主 事	宗 守 沙樹
嘱 託 職 員	河 野 和子
参 与	與 俊 弘

日医インターネットニュースから

■厚労省、宿日直許可申請で相談窓口設置 — 勤改センターによる訪問支援も —

厚生労働省は4月1日付で、医師の働き方改革を後押しするため、宿日直許可申請に関する医療機関からの相談を受け付ける窓口を設置した。労働基準監督署に相談することへの不安やためらいがある医療機関からの問い合わせや、相談内容のセカンドオピニオンの窓口として機能させたい考え。相談には厚労省が基本的に回答するが、現地での具体的な支援が有効と判断すれば、都道府県の医療勤務環境改善支援センター（勤改センター）が訪問支援する仕組みも設ける。

相談窓口は、厚労省労働基準局内に設置し、同省ホームページ上の相談フォーム (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24880.html) を通じて受け付ける。相談には厚労省職員に加え、宿日直制度の専門家が応じ、内容に沿った助言等を行う。一方で、訪問による支援が適切な相談などは、相談者の意向も踏まえて、厚労省経由で都道府県の勤改センターが訪問支援する体制を敷く。勤改センターには、労働基準監督署と必要な連携強化も求めていく。

相談窓口が想定している、医療機関からの相談内容のイメージは、「労基署に相談することに対して不安やためらいがあるので、実際に相談する前に、労基署への相談についてざっくりと聞きたい」、「地域の勤改センターや労基署に相談しているが、相談内容について厚労省の専門家にも相談してみたい」など。相談内容にはさまざまな状況が想定されるが、相談窓口を活用してもらうことで許可取得につなげてもらいたい考えだ。（令和4年4月5日）

■「勤改センターと労基署の連携強化を」

厚労省労働基準局の坪井宏徳医療労働企画官は、宿日直許可申請に関する相談窓口について本紙の取材に応え「日本医師会や四病院団体協議会等からの要望書で相談窓口の設置が求められていたことや、医療現場からも許可申請に関して厚労省の対応を求める声があった。こうした要望を受けて設置することになった」と説明した。

また「相談窓口の設置を契機に、医療機関の宿日直許可の取得に関して、勤改センターと労基署の連携の強化を図ってもらいたいと考えている」と指摘。相談窓口を円滑に機能させるポイントとして、2つの組織の連携強化を挙げた。

坪井企画官は「2次救急病院だからといって許可取得ができないことはない」とあらためて明確化した上で、「医療機関も必要な勤務実態のデータ等を準備して労基署関係者に相談することや、労基署も医療関係者の話に丁寧に対応するなど、相互の努力も必要」などと指摘した。

（令和4年4月5日）

■ウクライナ避難民へ支援を政府に要望 — 日 医 —

ロシアによる軍事侵攻に伴う、ウクライナからの避難民の受け入れが日本国内で始まっていることを踏まえ、日本医師会は、避難民に対する医療面での必要な支援の構築を政府に求めた。中川俊男会長が4月6日の記者会見で言及した。

親族ルートで避難した人については、▽公的医療保険が適用されるまでの医療費負担や公的

保険適用後の自己負担などの支援▽ビザの切り替えなどの手続きの迅速かつ柔軟な対応▽国や自治体による医療支援体制や法的手続きなどの丁寧な説明一を要望した。

政府ルートで避難した人への支援については「国として医療や健康管理の面でも十分に配慮してもらいたい。また、避難された方を受け入れた自治体と都道府県医師会、郡市区医師会との連携が十分に取られるような配慮をお願いしたい」と述べた。

●医療通訳サービス、ウクライナ語追加

中川会長は、日医の独自支援として、日本医師会医師賠償責任保険付帯の医療通訳サービスを強化したことも明らかにした。具体的には、同サービスの言語にウクライナ語を追加した。また、通常であれば無料通訳の利用は年間20回までとなっているが、避難民や受け入れ側の日本在住の親族が利用する場合は回数制限をなくすことにした。(令和4年4月8日)

■「積極的に情報提供進めたい」

— HPVワクチン・釜薙常任理事 —

HPVワクチンの積極的勧奨が4月から再開されたことに関連し、釜薙敏常任理事は今後日医として、HPVワクチンに特化した研修や情報提供を積極的に進めていきたいと言及した。

HPVワクチン接種後に患者が受診した場合の適切な対応をオンラインでも学んでもらう方針だ。

HPVワクチンを巡っては、接種後に持続的な疼痛や運動障害をはじめとした多様な症状が生じているとの報告がある一方、接種歴がない人でも接種後に報告があった事例と同様の症状を持つ人が一定数存在するとの見解を専門家らによる研究班がまとめている。

こうした状況を踏まえ、釜薙常任理事は「多様な症状に困って医療機関を受診された方々から困り事を真摯に聞いて、自院でフォローできる範囲と（症状を訴えた患者に対応する）協力医療機関への紹介が必要な範囲をしっかりと示したい」と述べ、症状を訴えた患者がこぼれ落ちることなく医療につながるよう対応を進めていくと語った。

協力医療機関は、都道府県ごとに1カ所は設置が義務付けられているが、患者に受診する医療機関の選択肢を提供するためにも「もっと増やしていく必要がある」と指摘。今後、積極的勧奨の再開によって受診の需要がどのように推移していくのかも見極めながら、受診したくても受診できないという状況が生じないように体制の整備を働き掛けていく考えを示した。

(令和4年4月12日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID (日医刊行物送付番号) の10桁の数字 (半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字 (半角)

医師協同組合だより

医師協同組合提携のメディカルカードについて

医師協同組合では、昭和61年より宮崎信販と提携して医療従事者(医師・看護師・事務職員等)の方を対象に地元百貨店(宮崎山形屋)などで割引があるクレジットカードを発行しています。是非お申込みをご検討ください。

MEDICAL CARD 新規ご入会キャンペーン

●年会費永年無料 ●盗難保険・海外旅行傷害保険自動付帯 ●ETC同時発行可能(年会費永年無料)

キャンペーン期間：2023年3月31日まで

新規ご入会&ご利用で

最大 **5,000円分**
JCBギフトカードプレゼント!

新規入会特典

新規ご入会でもれなく

3,000円分
GET

※ご成約月の翌月に郵送いたします。



カード利用特典

カードショッピングを
ご利用いただくと

翌々月までに
ご入会月の

2,000円分
GET

※カードご利用月の翌月に郵送いたします。



メディカルカードはWEBで簡単申込!

右記二次元バーコードよりアクセスしていただき、お申込フォームからお手続きをお願いいたします。



※WEB申込は、個人本会員(家族カード含む)のみの取り扱いとなります。

※法人カードは受付できません。法人カードを希望の場合は、MCコールセンターへお問い合わせください。

ご優待特典を一部ご紹介

宮崎山形屋・日南山形屋

通常時 **5%OFF!** (注①)

特別ご招待会(期間限定) **7%OFF!**

※バーゲン商品や一部商品によっては割引できないものがあります。
商品券・専売品はカードが使用できません。
※食品館は対象外となります。



宮崎観光ホテル

ホテル内下記レストラン **10%OFF!** (注①)(注②)

- 食彩健美「一木一草」
- モダンフレンチ「ダイヤモンドージュ」
- ガーデンレストラン「はな花」

※ご精算時のカードご利用が対象となります。



全国の阪急百貨店・阪神百貨店

3%OFF! (注①)

- 博多阪急
- 阪急うめだ本店
- 阪急メンズ大阪
- 千里阪急
- 川西阪急
- 宝塚阪急
- 阪急ハロードック宝塚
- 西宮阪急
- 神戸阪急
- 阪急メンズ東京
- 阪急百貨店
- 大井食品館
- 都筑阪急
- 高槻阪急
- 阪神梅田本店
- あまがさき阪神
- 阪神・御影
- 阪神・にしのみや



ビューティークリニックコダマ

BEAUTY CLINIC **Kodama**

5%OFF! (注①)

宮崎地区

- 宮崎本店
- 宮崎南店
- 都城店
- 小林店
- 日向店
- 延岡店
- 高鍋店
- 日南店

鹿児島地区

- 鹿児島中央店
- 鹿児島島田
- 国分店
- 谷山店

※ご精算時のカードご利用が対象となります。



メディカルカード優待店の他にも
お得なえむ割店を一部ご紹介

えむ割

- ミヤテック各店 ※宮崎県内の店内飲食のみ
- マスコグループ (らくい・恵屋)各店 ※宮崎駅内の店舗は除く
- shop Al'aise
- デサキ各店
- テツカ各店 ※テナント店は除く

3%OFF! (注①)(注②)

他にもお得なえむ割店がございます！
えむ割店はHPにてご確認ください。
<https://www.miyazaki-shinpan.co.jp>



シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート

ホテル内下記レストラン **3%OFF!** (注①)(注②)

- ガーデンビュッフェ「バイネラス」
- 寿司処「八潮」
- 米九
- 鉄板焼「ふかみ」
- 中国料理「藍海」
- Ristorante ARCO
- カクテルラウンジ「パシフィカ」

※ご精算時のカードご利用が対象となります。



〈ご優待特典に関する注意事項〉

注①: 売上伝票には割引額は記載されません。口座引落時に割引となります。

注②: 翌月1回払いでのご利用が対象となります。

※リーフ掲載情報は2022年3月のものです。特典内容・掲載店舗の情報などは予告なく変更になる場合がございます。※写真はすべてイメージです。

MC Premium Desk

メディカルカード会員様に贈る特別で希少なサービスです。
グルメ、宿泊、ペット宿泊、ゴルフ、旅行…

非日常を愉しむ上質なサービスをご提供いたします。

施設については専用サイトにてご確認ください。
https://www.jcbtravel.co.jp/jcbi_client/miyazaki_shinpan/index.html



ご予約・お問い合わせ **06-7639-1423**

サービス運営会社: JCBトラベル 営業時間/10:00~18:00 (日・祝・年末年始休)



※ご予約はJCBトラベルが行っております。予めご了承ください。

※ご予約の際にはメディカルカード会員様である旨をお伝えください。

※本案内の掲載写真はすべてイメージです。

医師国保組合だより

令和3年度 宮崎県医師国民健康保険組合第126回通常組合会

と き 令和4年3月11日(金)

ところ 県 医 師 会 館

去る3月11日に第126回通常組合会が開催され、秦理事長の挨拶後、議事に入った。専決報告事項および会務・業務内容について報告、来年度の保険料賦課額に係る協議後、規約の一部改正(案)、令和4年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画(案)についての審議を行い、全て原案のとおり可決承認された。

1 理事長挨拶

本県における新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」が、ようやく終了した。しかしながら、ロシアのウクライナに対する軍事侵攻が勃発し、これまでの平穏な生活が脅かされ、世界経済への影響が懸念されている。一刻も早い平和的解決による終息を願うほかはない。当組合では、人生100年時代を幸せに生きるため、寝たきりにならずに一生自分の脚で歩き続けることを目標に「ロコモ・フレイル予防啓発事業」に取り組んでいる。このたび、ロコモ・フレイル予防方法をイラスト付きで分かりやすく掲載した第2版のリーフレットを作製した。全組合員にポスターをセットにしてお届けするので、ぜひ活用してもらいたい。厚労省は、ACP(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の国民への理解および普及啓発を進めている。当組合では健康寿命の延伸を図り、平均寿命までの就業を目標とした

取組みを組合員に促してきた。今後は、人生100年時代に即した新たな支援事業の展開が必要と考える。本日は、規約の一部改正案および令和4年度事業計画案・歳入歳出予算案を上程しており、4議案の審議をお願いする。

2 議事の状況

1) 専決報告事項「規約の一部改正」について

当組合理約第45条の2「傷病手当金」、同規約第43条「出産育児一時金」の一部改正について、理事の専決処分したことを報告した。

2) 会務および業務報告について

会務は、関連団体との諸会議および当組合理事会等の協議事項について報告。業務は、被保険者数の推移、療養諸費等の給付状況、保健事業の実績を報告した。令和3年度歳入歳出決算収支見込みは、被保険者数の減少による保険料と国庫補助金の減収の歳入減が主な要因となり、1,324万余円の赤字決算の見通しであると報告した。

3) 協 議

議案第1号「規約の一部改正(案)」に関連するため、来年度の保険料賦課額について協議した。平成28年度から5年間にわたる国庫補助率の削減措置にともない、47都道府県医師国保組合の合併も検討されたことから、当組合では削減された減収分は積立金を取り崩しながら一般会計に繰

入し、組合員の負担を極力抑えた健全な財政運営に努めてきた。よって、基礎賦課額の保険料引き上げをせずに据え置きとしたため、積立金も当初の保有額から半減した。今後給付に係る積立金は、高額医療費への備えに充てることが必要となるため、過去3か年の歳入歳出決算状況および令和3年度歳入歳出決算見込みのシミュレーションに基づき、平均的なモデルケース（1世帯3人家族）の保険料を算出して他保険者と比較し、九州各県医師国保組合の保険料賦課額を説明した。来年度はA会員組合員基礎賦課額分保険料を月額3,000円引き上げし、38,000円に改定する。なお、保険料上限額以外のA会員およびB会員組合員、家族分の基礎賦課額分保険料、後期高齢者支援金分保険料、介護納付金分保険料については、来年度は据え置きすることを提案して了承された。

4) 規約の一部改正（案）について

令和4年度保険料賦課額の変更（A会員組合員基礎賦課額分保険料35,000円→38,000円）による規約の一部改正（案）について説明し、原案のとおり可決承認された。

5) 令和4年度事業計画（案）について

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下で、被保険者数の減少による保険料の減収かつ超高額レセプトの出現にも備える厳しい財政状況においても、前年度の事業計画を踏襲した。最重要課題である組合員の加入対策については、当組合事業案内リーフレットを利活用して、郡市医師会支部からの協力を得ながら、医師会員の組合への加入促進を図る。被保険者資格の適正化は、当組合被保険者の判定基準に則

り、全被保険者の資格確認調査を被保険者証の更新時に合わせて実施する。第二期データヘルス計画に基づき、被保険者の生活習慣病発症予防および重症化予防等の健康増進、更なる特定健診・特定保健指導の実施率向上に取り組む。いつまでも自力で歩き続けることを目標としたロコモ予防、要介護状態にはならないための身体的フレイル対策を進める。保険給付の適正化対策は、当組合の保有するデータ分析による重複受診・多剤処方対策を加える。来年度も全国国民健康保険協会九州支部（医師・歯科・薬剤師国保組合の三団体で構成）の担当組合を受け持つなど、主要な事業計画の内容を説明し、原案のとおり可決承認された。

6) 令和4年度歳入歳出予算（案）について

歳入は、新保険料賦課額に平均被保険者数から算出した保険料収入が3億7,188万余円で歳入合計の67%を占めている。定率国庫補助率13%をベースに、ゼロベースの特定被保険者の見込数から算出した国庫支出金は4,532万余円で8.1%、加入率が全保険者の平均加入率を上回る見込みの前期高齢者交付金は1,306万余円で2.3%、繰越金は8,951万余円で16.1%の比率で予算計上した。歳出は、保険給付費が2億3,917万余円で歳出合計の43.1%、後期高齢者支援金等は8,781万余円で15.8%、介護納付金は4,386万余円で7.9%を占めている。前期高齢者納付金は、科目存置の計上額のみで支出の見込みはない。保健事業費は2,363万余円で4.2%、予備費は、超高額レセプト請求の出現による療養費支払い等への備えのためにも7,714万円を計上した。歳入・歳出とも合計5億5,445万余円の予

算案（前年度比1.07%減）について説明し、原案のとおり可決承認された。

7) 令和4年度法令遵守（コンプライアンス）のための実践計画（案）について

当組合の法令遵守（コンプライアンス）を具体的に実践するための実践計画（案）を説明し、原案のとおり可決承認された。

8) その他（ロコモ・フレイル予防ポスターおよびリーフレットの利活用方法について）

ロコモと同様にフレイル予防も日本老年医学会等にて提唱されてきたことから、当組合においても宮大医学部附属病院 病院長の帖佐悦男先生に監修を依頼し、ロコモ・フレイル予防の新リーフレットを作製したことを報告、組合員および家族、自院の患者さんにも当該リーフレットの活用したロコモ・フレイル予防対策をお願いした。

出席組合会議員（議員定数30名 出席議員20名）

1番 市 来 能 成	12番 弘 野 修 一
2番 内 田 攻	13番 福 永 隆 幸
4番 岡 留 敏 秀	15番 野 邊 俊 文
5番 木佐貫 博 人	16番 大 岐 照 彦
6番 國 枝 良 行	22番 竹 中 美 香
7番 神 尊 敏 彦	23番 坂 田 師 隣
8番 佐 藤 潤一郎	25番 川 西 昭 人
9番 田 中 宏 幸	26番 福 岡 周 司
10番 谷 口 二 郎	27番 杉 原 純 次
11番 原 田 雄 一	28番 石 澤 宗 純

出席理事 10名

理 事 長 秦 喜八郎
副理事長 大 坪 睦 郎
副理事長 濱 田 政 雄
常務理事 佐々木 究
常務理事 川 野 啓一郎
理 事 石 川 智 信
理 事 高 木 純 一
理 事 玉 置 昇
理 事 上 山 貴 子
理 事 北 村 洋

出席監事 2名

監 事 棚 田 敏 文
監 事 山 路 健

令和4年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

(歳 入)

(単位：円)

款	項	金額	構成比	
1. 国民健康保険料	1. 国民健康保険料	371,884,000	67.07%	
2. 一部負担金	1. 一部負担金	1,000	0.00%	
3. 国庫支出金		45,328,000	8.18%	(100.00%)
	1. 国庫負担金	1,508,000		(3.33%)
	2. 国庫補助金	43,820,000		(96.67%)
4. 前期高齢者交付金	1. 前期高齢者交付金	13,060,000	2.36%	
5. 県支出金	1. 県補助金	2,000	0.00%	
6. 共同事業交付金	1. 共同事業交付金	23,532,000	4.24%	
7. 財産収入	1. 財産運用収入	170,000	0.03%	
8. 繰入金	1. 繰入金	5,000	0.00%	
9. 繰越金	1. 繰越金	89,515,000	16.14%	
10. 諸収入		10,954,000	1.98%	(100.00%)
	1. 加算金・延滞金及び過怠金	1,000		(0.01%)
	2. 預金利子	4,000		(0.04%)
	3. 雑収入	10,949,000		(99.95%)
歳入合計		554,451,000	100.00%	

(歳 出)

款	項	金額	構成比	
1. 組合会費	1. 組合会費	4,955,000	0.89%	
2. 総務費	1. 総務管理費	50,490,000	9.11%	
3. 保険給付費		239,178,000	43.14%	(100.00%)
	1. 療養諸費	219,410,000		(91.74%)
	2. 高額療養費	13,160,000		(5.50%)
	3. 移送費	1,000		(0.00%)
	4. 出産育児諸費	1,260,000		(0.53%)
	5. 葬祭諸費	1,140,000		(0.48%)
	6. 傷病諸費	4,207,000		(1.76%)
4. 後期高齢者支援金等	1. 後期高齢者支援金等	87,817,000	15.84%	
5. 前期高齢者納付金	1. 前期高齢者納付金	6,000	0.00%	
6. 介護納付金	1. 介護納付金	43,863,000	7.91%	
7. 共同事業拠出金		26,984,000	4.87%	(100.00%)
	1. 共同事業拠出金	23,538,000		(87.23%)
	2. 共同事業負担金	3,446,000		(12.77%)
8. 保健事業費		23,639,000	4.26%	(100.00%)
	1. 特定健康診査等事業費	3,591,000		(15.19%)
	2. 保健事業費	20,048,000		(84.81%)
9. 積立金	1. 積立金	5,000	0.00%	
10. 組合債費	1. 組合債費	1,000	0.00%	
11. 諸支出金	1. 償還金及び還付加算金	373,000	0.07%	
12. 予備費	1. 予備費	77,140,000	13.91%	
歳出合計		554,451,000	100.00%	

令和3年度保健事業（健診個人票及び各種申請書）の提出について

令和3年度中に当組合の各種保健事業を実施された組合員および該当するご家族の方で、健康診断個人票や各種申請書をまだ提出されていない方は、5月20日(金)（必着）までにご提出ください。

提出期日を過ぎますとお支払いができませんので、お早目のご提出をお願いします。

※特に40～74歳の方（特定健診対象者）については、特定健診受診率向上のため、健診個人票のご提出にご協力をお願いします。

令和4年度保健事業について

5月に「保健事業の案内」を組合員の先生方宛に送付する予定ですが、4月から受診されても結構です。その際には、当組合Webサイトから申請書をダウンロードしてご請求ください。

◎当組合保健事業一覧

健康診断	歯科健康診査
胃・大腸内視鏡検査の補助	肺炎球菌ワクチン接種補助
低線量ヘリカルCT肺がん検診	インフルエンザワクチン接種補助
脳ドックなどの補助	乳がん検診（マンモグラフィ検査）

健康保険適用除外申請の手続きについて

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

国民健康保険法第116条にかかる届出について

修学のため住民票を移し、親元を離れて住む方などについては5月10日(火)までに必要書類の提出をお願いしておりますが、取得でき次第速やかに組合へ提出ください。

なお、住民票を移していない方には、第116条にかかる届出は必要ありません。

＜注 記＞

1) 在学証明書は、毎年4月1日以降発行のものを提出ください。

新入学の場合は、入学式終了直後から在学証明書が発行されます。

(※入寮許可証や学生証などは認められません)

2) 本届出に関する書類は、3月中旬に該当する組合員宛へ

「令和4年度保険料賦課額のお知らせ」と一緒に送付しておりますのでご確認ください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

「はまゆう随筆」原稿募集

夏の恒例となりました7, 8月号の「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評いただいております。

題 材 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 詩歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

字 数 800字以内 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

締 切 令和4年6月24日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は, 会員以外 (マスコミ・行政・図書館など) にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法 (FAX, 郵便など) でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	b	c	e	a	a	d	a	d	a



令和4年3月1日(火) 第22回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①児童扶養手当の支給に関する障害判定嘱託医の推薦について

→児童扶養手当の支給に関し、児童の父または母の障害の判定を行う医師3名の任期満了にともなう推薦依頼があり、再任の方向で現職の意向を確認し推薦を行うことが承認された。

2. 理事会資料閲覧端末の更新について

現在資料を閲覧するために使用しているデスクトップパソコンが老朽化しているため、開催場所を機動的に変更できる利点と価格などからタブレット端末(iPad)に更新することが承認された。

3. 4/23(土) 第16回男女共同参画フォーラムの開催について

「医療人を育む一歩から～医師の多様な働き方について」をテーマにWebで開催されるフォーラムで、荒木・金丸常任理事、嶋本・大塚・上山理事が参加することおよび郡市医師会などにも案内をすることが承認された。

4. 3/30(水) 令和3年度都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会の開催について

医療的ケア児をめぐる諸課題と医師会としての取組みの推進に向けて協議するためにWebで開催される会議で、石川・高木常任理事の出席が承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 2月末日現在の会員数について

3. 2/27(日) (県医) 日医医療事故調査制度に係る支援団体統括者セミナーについて

4. 2/25(金) (県医) 県医師会創立133周年記念医学会について

5. 3/1(火) (県医) 治験審査委員会について

6. 2/28(月) (県医) 介護保険に関する主治医研修会について

7. 2/28(月) (県医) 日医認定産業医制度関係小委員会について

令和4年3月8日(火) 第3回理事会

医師会関係

(議決事項)

第1号議案

令和3年度宮崎県医師会会費減免に関する件

吉田常任理事から、資料を基に、令和3年度の会費減免申請者は178名で減免総額は533万5,000円、その都度、個別申請を全理事協議会または常任理事協議会に上程しているとの説明が行われた。審議の結果、出席者全員の賛成(議長除く22名)をもって原案どおり可決承認された。

第2号議案

令和4年度宮崎県医師会事業計画に関する件

小牧常任理事から、資料を基に、序文、重点項目および具体的事項などの説明が行われた。審議の結果、軽微な変更および県への提出様式に合わせたレイアウトなどの変更は会長一任とすることを確認したうえで、出席者全員の賛成(議長除く22名)をもって、原案どおり可決承認された。

議案第3号**令和4年度宮崎県医師会収支予算に関する件**

吉田常任理事から、資料を基に、予算金額が大きい重要事項や前年度予算と比較して増減の大きい科目、収支相償および公益目的事業比率などの説明が行われた。審議の結果、経常収益計5億7,760万8,000円、経常費用計5億7,570万円、当期経常増減額190万8,000円、正味財産期末残高が171万5,000円の増となる予算が、出席者全員の賛成（議長除く22名）をもって原案どおり可決承認された。

議案第4号**令和4年度宮崎県医師会資金運用計画に関する件**

吉田常任理事から、資料を基に、流動資産5,000万円以内、会館補修費積立1,500万円以内、建物減価償却積立7,000万円以内、財政調整積立8,451万円以内、会館建設債返済積立4,000万円以内の合計2億5,951万円以内を、資金運用規程に基づき運用したいとの説明が行われた。審議の結果、出席者全員の賛成（議長除く22名）をもって原案どおり可決承認された。

議案第5号**役員賠償責任保険の契約に関する件**

吉田常任理事から、資料を基に、令和3年3月施行の法改正により、保険内容および被保険者を役員とすることについて理事会での決議を取ることを条件に、保険料の全額を法人負担にすることが可能となったため、保険金額1億円の役員賠償責任保険について、被保険者を理事および監事26名として契約したいと説明があり、審議の結果、出席者全員の賛成（議長除く22名）をもって原案どおり可決承認された。

議案第6号**第175回宮崎県医師会臨時代議員会の開催に関する件****議案第7号****第176回宮崎県医師会定例代議員会の開催に****関する件**

（議案第6号と第7号は一括審議）

小牧常任理事から、定款第24条および選挙細則第3条等の規定に基づき、任期満了にともなう役員選挙を主な議題とする臨時代議員会を令和4年5月24日(火)、収支決算を主な議題とする定例代議員会を令和4年6月18日(土)に開催したいと説明があり、審議の結果、出席者全員の賛成（議長除く22名）をもって原案どおり可決承認された。

議案第8号**宮崎県医師会育児・介護休業等に関する規則改正に関する件**

小牧常任理事から、資料を基に、育児・介護休業法の改正により令和4年4月1日から義務化される事項に対応し、職員の育児・介護休業の円滑な取得や職場復帰支援のために、宮崎県医師会育児・介護休業等に関する規則を改正することが説明され、審議の結果、出席者全員の賛成（議長除く22名）をもって原案どおり可決承認された。

令和4年3月8日(火) 第12回全理事協議会

医師会関係**(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

①特別児童扶養手当などの支給に関する法律に基づく特別児童扶養手当および特別障害者手当などの障害程度判定のための嘱託医の推薦について

→障害がある児童の障害程度の判定および認定などを行う嘱託医の任期満了にともなう推薦依頼があり、再任4名（精神科2名、小児科1名、整形外科1名）新任1名（精神科）の医師を推薦することが承認された。

②宮崎県小児慢性特定疾病審査会委員の推薦および就任について

→小児慢性特定疾病医療費助成事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的に設置される審査会委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、小児科医師2名（再任1名、新任1名）を推薦することが承認された。

③生活保護法に基づく県本庁嘱託医等の推薦について

→生活保護法による医療扶助の要否の審査や実施にともなう判断などを行う嘱託医の任期満了にともなう推薦依頼があり、県本庁嘱託医2名と郡部福祉事務所精神科嘱託医5名の計7名（一部重複）について、引き続き推薦することが承認された。

2. 審査委員の推薦について

現委員1名の辞任にともなう推薦依頼で、推薦母体の都城市北諸県郡医師会に推薦を依頼することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①5/15(日) 「みやぎキナースToday2022」の名義後援について

→県民や看護職を希望している生徒、進路担当教諭などを対象として看護に対しての関心や理解を深めることを目的に開催する事業で、名義後援を行うことが承認された。

4. 4/2(土) (沖縄)九州医師会連合会第397回常任委員会の開催について

河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局に提出し取扱いについては会長に一任することが承認された。

5. 4/9(土) (県医)令和4年度All Miyazaki研修医スタートアップセミナーについて

本県で臨床研修を始める先生方をお祝いする趣旨で開催するセミナーで、プログラムや役割分担などを確認し開催することを承認した。なお、昨年に引き続き縮小開催とするが現段階では集合形式で開催する予

定である。

6. 3/11(金) 県医師会役職員緊急連絡網の訓練について

災害時に本会役職員の安否確認するためのメールシステムの通信訓練を3月11日(金)正午に実施することが承認された。また、訓練メールが届いたら必ず安否の回答をすることを要請した。

7. 業務委託について

①新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保業務の変更契約について

→県から受託している、自宅で療養を行う新型コロナウイルス感染症患者の健康観察を行う事業について、第6波の影響で対象者が激増したため、委託金額を増額するための変更契約を締結することが承認された。

8. 令和3年度健康教育事業費補助金交付申請について

健康増進や疾病対策についての正しい知識の啓発に取り組む郡市医師会および専門分科医会へ補助金を交付する事業で、申請のあった西都市西児湯医師会に交付することが承認された。

9. 宮崎県医師会広報委員会の委員について

広報委員会の任期が令和4年3月31日で満了となるため、次期の委員構成および委員長・副委員長の提案があり承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 3/2(水) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

3. 3/3(木) (県防災庁舎) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について

4. 3/4(金) 日医公衆衛生委員会について

5. 3/8(火) (県医) 治験理事会について

6. 3/2(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

7. 2/26(土) (県医) 母体保護法指定医師研修会について

8. 3/2(水) (県医) 医学会誌編集委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 3/26(土) 衆議院議員「武井俊輔政経セミナー」のご案内

全旅連青年部九州・沖縄ブロックなどが発起人となり開催される政経セミナーで、協力することが承認された。

(報告事項)

1. 3/4(金) (県医) 参議院議員自見はなこ先生国政報告会について

令和4年3月22日(火) 第23回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による日医会費減免1名および県医会費減免1名と、疾病による日医および県医会費減免の継続5名の申請が承認された。

2. 資金の運用について

令和4年4月1日に満期を迎える資産3件を引き続き定期預金に預け入れることと、普通預金に預け入れている資産1件を新規で定期預金に預け入れることが承認された。

3. ウクライナ国民への医療支援について

ウクライナ国民への医療支援を目的とした支援金について、本会から50万円寄付をすることと、日医が開設した支援金受付口座を郡市医師会および会員に案内することが承認された。

4. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

→事業主や産業保健関係者に対し研修や

相談対応などを行うセンターの運営主幹の任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き瀬ノ口常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎産業保健総合支援センター運営協議会委員の推薦について

→産業保健総合支援センターの効率的・効果的な運営のために設置される協議会委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、産業保健担当理事を中心に調整のうえ2名推薦することが承認された。

③宮崎県国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会委員の推薦について

→介護給付費等請求書の適正な審査に資することを目的に設置される委員会委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き立元祐保先生と石川常任理事を推薦することが承認された。なお、本会からの推薦とは別に、市町村を代表する委員として金丸常任理事が就任予定である。

5. 業務委託について

①令和4年度広域予防接種業務委託契約について

→小児の定期予防接種について、圏域を越えて広域的に実施できるよう県内26市町村と契約を行うもので、県内統一の予防接種委託料および事務手数料で契約を進めることが承認された。

②令和4年度広域高齢者肺炎球菌感染症定期予防接種業務委託契約について

→高齢者の肺炎球菌感染症定期予防接種について、圏域を越えて広域的に実施できるよう県内26市町村と契約を行うもので、県内統一の予防接種委託料および事務手数料で契約を進めることが承認された。

6. 後援・共催名義等使用許可について

①6/12(日) 令和4年度看護進路相談会の

名義後援および参加について

→看護職を希望する中高生と保護者向けの進路相談会で、名義後援することと参加することおよび医師会立看護師等養成所へ案内をすることが承認された。

7. 4・5月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 3/9(水) (県医) 県アイバンク協会理事会について
3. 3/11(金) (宮大医学部) 宮大医学部附属病院 医師研修管理委員会について
4. 3/15(火) (県医) 日医理事会について
5. 3/18(金) 宮大経営協議会について
6. 3/19(土) (福岡) 松田峻一良先生お別れの会について
7. 3/15(火) (県防災庁舎) 県母子保健運営協

議会について

8. 3/16(水) 県移植推進財団理事会について
9. 3/12(土) (県医) 臨床検査精度管理調査報告会について
10. 3/15(火) (県医) 医師クラーク育成・スキルアップ研修会について
11. 3/18(金) (県医) 日医2021年度防災訓練(災害時情報通信訓練)について
12. 3/18(金) (県防災庁舎) 県地域医療対策協議会について
13. 3/15(火) (MRT-micc) 県リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業に関する連絡会議について
14. 3/16(水) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
15. 3/17(木) 日医地域包括ケア推進委員会について

4月のベストセラー (宮崎県)

集計：2022年4月1日～4月20日

1	同志少女よ、敵を撃て	逢坂冬馬	早川書房
2	ひと	小野寺史宜	祥伝社文庫
3	余命10年	小坂流加	文芸社文庫
4	私が見た未来 完全版	たつき	飛鳥新社
5	女のいない男たち	村上春樹	文春文庫
6	人は話し方が9割	永松茂久	すばる舎
7	80歳の壁	和田秀樹	幻冬舎文庫
8	元彼の遺言状	新川帆立	宝島社文庫
9	20代で得た知見	F (エフ)	KADOKAWA
10	ヒトの壁	養老孟司	新潮社新書

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

県 医 の 動 き

(4月)

1	宮崎県医師サービスセンター寄付金贈呈式 (会長) 辞令交付式 (会長) 産業保健総合支援センター辞令交付式 (会長) 医家芸術展世話人会 (濱田副会長他)	19	日医理事打合会 (Web会議) (会長) 日医理事会 (Web会議) (会長) 自見はなこ参議院議員支援のための県議との 打ち合わせ (河野委員長) 母体保護法指定医師審査委員会 (濱田副会長他)
2	九医連常任委員会 (Web会議) (会長)	20	県個人情報保護審議会 (荒木常任理事) 自見はなこ参議院議員支援のための日医役員 との打ち合わせ (河野委員長他)
5	治験審査委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 第1回常任理事協議会 (会長他)	21	県認知症疾患医療センター合同会議 (石川常任理事) (高鍋町) 児湯医師会臨時総会 県内科医会理事会 (Web会議) (金丸常任理事) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 (濱田副会長他)
8	県産婦人科医会医療保険委員会 (Web会議) (嶋本理事他)	22	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担 当理事連絡協議会 (Web会議) (濱田副会長他) 県外科医会理事会 (Web会議) (岩村理事)
9	All Miyazaki研修医スタートアップセミナー (会長他) 日医未来医師会ビジョン委員会 (大塚理事)	23	男女共同参画フォーラム (Web会議) (荒木常任理事他)
10	日医学校保健講習会 (Web会議) (高木常任理事)	25	県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会 (Web 会議) (高木常任理事) (西都市) 西都市西児湯医師会臨時総会
11	広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸常任理事) 県産婦人科医会決算予算に関する検討会議 (嶋本理事)	26	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本理事) 医協理事会 (河野理事長他) 第1回全理事協議会 (会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他)
12	第2回常任理事協議会 (会長他)	27	保育支援サービス事業自動車保険に関する説 明会 (荒木常任理事) 労災診療指導委員会 (川野理事) 知事との意見交換会 (会長) 病院部会・医療法人部会合同理事会 (池井常任理事他) (都城市) 都城市北諸県郡医師会臨時社員総会
13	県産婦人科医会会計監査 (嶋本理事)	28	(日南市) 南那珂医師会臨時総会 医師国保組合理事会 (秦理事長他)
14	九州厚生局宮崎事務所等との保険医療機関の 指導計画等打合せ (会長他) 県産婦人科医会全理事会 (Web会議) (嶋本理事他)	30	県産婦人科医会春期総会・講演会 (Web会議) (濱田副会長他)
15	産業保健活動推進全国会議 (Web会議) 日医勤務医委員会 (Web会議) (金丸常任理事) 女性医師復職等支援事業に関する打合せ会 (荒木常任理事)		
18	広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 各郡市医師会新型コロナウイルス感染症担当 理事連絡協議会 (Web会議) (会長他) 医師国保組合重複受診・多剤処方対策WT会議 (佐々木理事他)		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和4年4月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	3	1
精神科	1	1	0
老年健	1	0	1

2) 女性医師求職登録数 2人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	2	0	2

2. 斡旋成立件数 85人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和3年度	4	3	7
平成16年度から累計	61	24	85

3. 求人登録 105件 351人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	103	80	23	消化器外科	3	2	1
外科	26	22	4	乳腺外科	3	3	0
整形外科	31	24	7	健診	8	5	3
精神科	17	15	2	泌尿器科	5	3	2
脳神経外科	11	7	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	16	14	2	皮膚科	4	2	2
麻酔科	12	9	3	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
脳神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	3	3	0
リハビリテーション科	5	5	0	その他	6	6	0
救命救急科	9	9	0	合計	351	280	71

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230212	医)青葉会 のざきクリニック	宮崎市	内,在宅	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透,(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三 股 町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三 股 町	精,内	2	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ 大貫診療所	延 岡 市	内,外 (いずれか)	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	5	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串 間 市	不問	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和4年4月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫	所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyouto@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

T E L：

F A X：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年4月21日

5		月			
1	日	18	水	16：30 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議)	
2	月				
3	火	19	木	(憲法記念日)	
4	水	20	金	(みどりの日)	15：00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 19：00 医協会計監査
5	木			(こどもの日)	
6	金	21	土	14：30 産業医部会総会・研修会 (TV会議)	↑
7	土	22	日	14：00 九医連常任委員会 (Web会議)	
8	日	23	月	19：00 広報委員会 (Web会議)	
9	月	24	火	18：00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18：30 第1回理事会 終了後 第2回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19：00 県医臨時代議員会	
10	火	25	水	18：00 治験審査委員会 (Web会議) 18：30 医協理事会 19：00 第3回常任理事協議会	
11	水			13：00 国保組合推進連盟代議員会 (Web会議) 13：45 全国国保組合協会理事会 (Web会議)	
12	木	26	木	19：00 医療的ケア児支援センター等に関する協議 19：00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	
13	金	27	金	15：00 全国医師国保組合連合会運営委員会 (Web会議) 19：00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web会議)	
14	土	28	土	15：30 県内科医会総会・学術講演会	
15	日				
16	月	29	日	11：00 県国保連合会臨時理事会 (Web会議) 19：00 広報委員会 (Web会議)	
17	火	30	月	13：00 日医理事打合せ 14：00 日医理事会 16：30 日医連執行委員会 19：00 第4回常任理事協議会	
18	水	31	火	16：00 支払基金支部運営委員会	12：00 県小児科医会役員会 13：30 県小児科医会総会・春季学術講演会 14：00 河野しゅんじ県政報告会
				18：15 医協理事会 19：00 第5回常任理事協議会	↓

※都合により、変更になることがあります。
 行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年4月21日

6		月		
1	水		16 木 13:30 宮大経営協議会	
2	木	19:00 医療安全対策 (Web) セミナー (Web会議)	17 金	
3	金	19:00 学校医部会理事・評議員会 (Web会議)	18 土 15:00 医協通常総代会 15:20 医協理事会 15:25 県医連執行委員会 15:40 県医定例代議員会 16:05 第3回理事会 16:15 県医臨時代議員会 16:30 県医総会	
4	土	12:00 日本介護支援専門員協会全国大会inみやざき		19 日
		15:30 (沖縄) 九医連常任委員・次期会長合同会議		
		16:40 (沖縄) 九医連常任委員・次期日医代議員協議会		
		18:10 (沖縄) 九州ブロック日医代議員 (含・次期) 連絡会議	20 月 19:00 広報委員会 (Web会議)	
5	日		21 火 13:00 日医理事打合せ 14:00 日医理事会	
6	月		22 水	
7	火	17:30 治験審査委員会 (Web会議)	23 木 19:00 医師国保組合定例事務監査	
		18:30 第2回理事会 終了後 第3回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	24 金 18:00 (東京)九州ブロック (次期)日医代議員連絡会議 懇談会	
8	水	16:00 支払基金支部運営委員会	25 土 9:00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医定例代議員会 13:30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・全体研修会 (Web会議)	
9	木	13:30 (大阪)全国国保組合協会通常総会		
		19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)		
10	金	17:30 宮大医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院説明会	26 日 9:00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医臨時代議員会	
11	土		27 月	
12	日		28 火 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:30 医協理事会 19:00 第7回常任理事協議会	
13	月	19:00 広報委員会 (Web会議)		
14	火	19:00 第6回常任理事協議会		
15	水		29 水 15:00 労災診療指導委員会	
			30 木 19:00 在宅医療協議会役員会 (Web会議)	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第25回認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会 (Web講習会) 5月13日(金) 19:00~21:00 県医師会館 ※受講はWebのみ	連携と制度 宮崎県福祉保健部 長寿介護課 医療・介護連携推進室 福井 涼子	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	認知症地域支援推進員とは～役割・活動内容の紹介～ 医療法人十善会 県南病院 看護師 認知症初期集中支援チーム・ 元認知症地域支援推進員 深江 ちかえ	29 (0.5)	
	若年性認知症への支援 若年性認知症支援コーディネーター 生田 みい子	29 (0.5)	
	多職種チームによる認知症初期集中支援の実際 ～精神保健福祉士の立場から～ 医療法人十善会 県南病院 精神保健福祉士 児玉 雅己	29 (0.5)	
南那珂医師会生涯教育医学会 (Web講習会) 5月17日(火) 19:00~20:15 南那珂医師会館 ※受講は現地またはWeb	膠原病に伴う間質性肺疾患 (CTD-ILD) ～早期診断と長期のフォローアップ～ 宮崎大学医学部附属病院 膠原病・感染症内科 助教 川口 剛	46 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎大学医学部附属病院2022年度医療安全管理講演会 5月26日(木) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附属病院	【専門医共通講習－医療安全：1単位】 ヒューマンエラーを防止する：安全人間工学の考え方と方法 早稲田大学理工学術院 創造理工学部 教授 小松原 明哲	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院医療人育成課 ☎0985-85-9795
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 5月27日(金) 19:00～20:10 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	栄養と睡眠 長嶺北クリニック 院長 北 英二郎	20 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 MSD(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
訪問在宅診療における呼吸管理を考える (Web講習会) 5月28日(土) 18:30～20:00 MRTmicc ※受講は現地またはWeb	コロナ禍における宮崎市郡の訪問在宅診療の現状と課題 クリニックうしたに 副院長 松崎 泰憲 ----- 「在宅医療における咳・痰・息切れへのアプローチ」 ～慢性気管支炎・肺気腫治療の新時代～ 藤木内科外科クリニック 院長 藤木 玲	80 (0.5) 46 (0.5) 79 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡在宅医学会 ☎0985-77-9101 ◇共催 アストラゼネカ(株)
令和4年度宮崎県小児科医会総会・春期学術講演会 5月29日(日) 13:30～17:05 県医師会館	当科に入院した小児COVID-19患者の解析 宮崎県立宮崎病院 小児科 石井 茂樹 ----- 学校検尿とこどもの腎臓病 宮崎大学医学部 小児科 田中 悦子 ----- 画像診断における最近の話題 宮崎大学医学部 病態解析医学講座放射線医学分野 教授 東 美菜子 ----- 心エコー図検査最新のトピックス 宮崎大学医学部 機能制御学講座循環動態生理学分野 教授 渡邊 望	8 (0.5) 72 (0.5) 9 (1.0) 44 (1.0)	◇主催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
第16回宮崎心臓リ ハビリテーション セミナー (Web講習会) 5月31日(火) 18:45~20:20 KITEN ※受講は現地また はWeb	心肺機能と骨格筋の役割 福岡大学スポーツ内科学 教授 他	上原 吉就 19 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 宮崎心臓リハビリテ ーション研究会 ◇共催 トアエイヨー(株) (株)アステム (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

お知らせ

第23回 宮崎県医師会 医家芸術展 作品募集！

宮崎県医師会医家芸術展は、会員の医師およびそのご家族から、写真、絵画、書道の3部門の作品を出展いただき開催しているもので、今年で23回目を迎えます。

今年度も下記の要領で作品を募集いたしますので、ご出展を心よりお待ちしております。

応募要領

- 1 展示期間：8月10日(水)、11日(木)、13日(土)、14日(日) 10時~18時 (14日のみ15時まで)
※12日(金)は休みになります (休館日のため)
- 2 場 所：宮崎県立美術館2F 県民ギャラリー
(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)
- 3 応募作品：写真、絵画、書道、その他作品(サイズに限りがあります。事務局にご相談ください)
※作品の搬入・搬出につきましては、各自の責任のもとでお願いしています。
- 4 応募資格：宮崎県医師会会員および家族(高校生以上)
- 5 応募方法：県医師会ホームページより応募用紙をダウンロードし、FAXにてご提出ください。

【検索】⇒ [宮崎県医師会 第23回医家芸術展 作品募集](#)

応募用紙の郵送/FAXをご希望の方は、事務局までご連絡ください。

応募締切：令和4年5月19日(木)

応募先/問合せ先：宮崎県医師会医家芸術展事務局

TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550

診療メモ

泌尿器科におけるロボット支援下手術の現状

宮崎県立宮崎病院 泌尿器科 黒 岩 顕太郎

1. はじめに

ロボット支援下手術においては、①大きな可動域を持つ鉗子3本による精密な操作、②ブレのない三次元ハイビジョン画像、③シミュレーターによる学習、などにより手術の自由度、精度、ラーニングカーブは開放手術/腹腔鏡手術と比較して格段に向上し、術者にとって快適な術野（フィールド）を確保することができる。また、リアルタイムの（3DCT、エコーなど）ナビゲーションにより腫瘍、血管、尿路の位置関係を正確に把握した手術も可能である。本邦において2012年のロボット支援下前立腺全摘術以降、泌尿器科、外科、婦人科、耳鼻科においてロボット支援下適応術式は広がっている。本稿では泌尿器科におけるロボット支援下手術の現状について概説する。

2. 前立腺癌

限局性前立腺癌に対する標準治療である前立腺全摘除術にロボット支援下手術は最も早く導入され、現在本邦ではほぼ100%ロボット支援下で施行されている。開放手術では前立腺周囲静脈叢からの出血のため輸血を要することが多かったが、ロボット支援下手術においては気腹と拡大視野による精密操作のため広範切除時など特別な場合以外では輸血（準備）は必要としない。文献上、前立腺癌におけるロボット支援下手術は開放手術、腹腔鏡下手術と比較して外科的断端陽性率、周術期合併症が少なく、術後

の性機能、尿禁制の回復が早く、在院日数は最も短いと報告されている。解剖学上の理解を実際の手術に正確に反映可能であることが、このアウトカムの向上に寄与していると考えられる。骨盤内リンパ節転移の可能性が5%以上と予測される場合に施行される骨盤内リンパ節郭清術は難易度の高い手技であるが、ロボット支援下を行うことでより正確な範囲の廓清、合併症（血管/神経損傷、リンパ漏など）の予防が可能である。

3. 腎 癌

2016年に7 cm以下の限局性腎癌（cT1N0M0）に対するロボット支援下部分切除術が保険適応となり小径腎癌に対する標準術式として広く施行されている。腎部分切除術では通常腎動脈阻血後に腫瘍切除と腎実質縫合を行う。阻血時間が長いと腎機能低下をきたすため、正確な切除と切除後の速やかな腎実質縫合による短い阻血時間の達成が重要であるが、ロボット支援下による鉗子の精緻な操作はこの点において従来の腹腔鏡下手術よりも有利である。また従来は困難であった腎門部腫瘍などに対してもより安全な切除が可能となった。なお2022年4月より部分切除術だけではなく腎癌のロボット支援下根治的腎摘除術が保険適応となった。現時点で施設基準など詳細不明であるが腎癌の標準手術は全て保険適応になったことになる。

4. 膀胱癌

限局性膀胱癌に対する標準治療は膀胱全摘除術（尿路変向術）と骨盤内リンパ節郭清である。ロボット支援下膀胱全摘除術は2018年に保険適応となった。ランダム化比較試験，メタアナリシスによりロボット支援下手術は開放手術よりも出血量が少なく，同等の制癌効果が示されている。施設基準が厳しいため前立腺癌や腎癌より施行可能施設が少ないのが現状であり，施設基準を満たさない施設では開放/腹腔鏡下の膀胱全摘除術が施行されている。ロボット支援下手術では出血の少ない正確な手術，また低侵襲な体腔内尿路変更術が可能であり，多くの施設で骨盤内リンパ節廓清術を伴うロボット支援下前立腺全摘除術に習熟している現況を考えると今後の施設基準の緩和によるロボット支援下手術の普及が望まれる。

5. 膀胱脱

良性疾患である膀胱脱に対する標準治療は経腔の手術と腹腔鏡下仙骨固定術である。膀胱脱に対するロボット支援下腹腔鏡下仙骨固定術は2020年に保険適応となった。ロボット支援下手術の特性により仙骨固定術においても結紮縫合の時間が短く，出血量や開放手術への移行が少ないことが報告されている。経腔的手術も標準治療であるため施設基準である腹腔鏡下仙骨固定術の症例数をクリアすることが難しいのが現状である。

6. 腎盂尿管癌

腎盂尿管癌に対する標準治療は腎尿管全摘除術である。広範囲のリンパ節郭清術を伴う場合は開放手術が施行されるが，多くの症例では腹腔鏡下手術が行われる。腎摘除は腹腔鏡下で行い，下部尿管は下腹部正中切開で摘出するのが一般的である。2022年4月よりロボット支援下手術が保険収載されることになり，本邦でも今後症例数の増加が見込まれる。ロボット支援

下手術の特徴は同一ポートで腎，尿管摘除を完全に体腔鏡下で施行可能であること，後腹膜リンパ節郭清も同時施行可能であることであり，より低侵襲な治療法になることが期待される。

7. 副腎腫瘍

副腎皮質/髄質腫瘍に対するロボット支援下腹腔鏡下手術も2022年4月より保険適応になった。施設基準などは現時点では不明であるが腎盂尿管癌同様本邦でも今後症例数の増加が見込まれる。副腎腫瘍については腹腔鏡下手術でも十分に安全で正確な手術は可能であり，ロボット支援下手術における利点を医療コストも考慮して今後明らかにしていくことが必要であると考えられる。

8. おわりに

泌尿器科領域においては副腎，腎，膀胱，前立腺の主要な手術はほぼロボット支援下で行うことが可能になった。安全で質の高いロボット支援下手術を行うにあたっては「泌尿器科領域におけるロボット支援手術を行うにあたってのガイドライン」に従い，術者，助手，麻酔医，看護師，臨床工学技士がチームとして機能することが重要である。ロボット支援下手術導入初期段階である当院においても全科において，今後の症例集積とフィードバックにより安全で質の高いロボット支援下手術を成熟させていく予定である。

【泌尿器科におけるロボット支援下内視鏡手術の保険適応術式】

2012年	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
2016年	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(腎部分切除術)
2018年	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
2020年	腹腔鏡下仙骨固定術 腹腔鏡下腎盂形成術
2022年	腹腔鏡下副腎摘出術 腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫) 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術

宮大医学部学生のページ



2021年度国家試験の結果報告と課題

宮崎大学第117回国家試験対策委員会 委員長 あ まん たつ き 阿 萬 樹 生

第116回医師国家試験において国試対策委員を務めました阿萬と申します。この場をお借りして第116回医師国家試験のご報告をさせていただきますと思います。

2022年2月5、6日に第116回医師国家試験が実施され、3月16日に合格発表がありました。宮崎大学からは新卒生（100名）と既卒生（7名）合わせて計107名が受験しました。結果といたしましては、以下の表1のようになっています。新卒・既卒ともに全国平均を下回る結果となりました。新卒生は全国平均と比較しても大差ないのに対して、今年は既卒生の合格率低下が目立つように感じました。

表1 宮崎大学の第116回医師国家試験合格率

2021年度	総数	新卒のみ	既卒のみ
宮崎大学	88.8%	94.0%	14.3%
全国平均	91.7%	95.0%	54.0%

第116回医師国家試験に関して予備校の講評によりますと、例年同様過去問をベースとした基本的な問題をしっかり押さえておけば得点可能な問題が多いとのことでした。また、公衆衛生分野が一部難化したものの、必修の難易度は近年安定していると考えられています。しかし、コロナの治療や救急・外傷に関する問題など、少し変革を感じさせる内容も出題され、実臨床に即した問題が増加傾向にあると考えられます。

表2に今年を含めた過去5回の宮崎大学と全国平均の合格率を示します。全国平均はここ3年で大きな変化はないことが分かりますが、やはり今年の既卒生の合格率が低いことが目立ちます。宮崎大学全体の合格率と新卒のみの合格率も前年と比較するとやや低い印象を受けます。医師国家試験が2日間・400問の新体制となってから今年が5回目の実施ですが、全国平均としては2番目に高い結果となりました。

表2 宮崎大学の医師国家試験合格発表の推移（過去5回分）

	第116回(今年)	第115回	第114回	第113回	第112回
総数	88.8%	94.4%	89.2%	83.7%	87.2%
新卒のみ	94.0%	97.3%	94.4%	85.2%	89.2%
既卒のみ	14.3%	69.2%	63.6%	73.3%	69.2%
全国平均	91.7%	91.4%	92.1%	89.0%	90.1%

さて、新年度受験生となった6年生とともに国家試験に向けてこれから活動していくにあたって、来年の医師国家試験では今年よりも良い結果をご報告できるように、国試対策委員一同精一杯サポートさせていただき所存です。

今年も昨年に引き続き新型コロナウイルス対策の影響で例年通りとはいかない中、できる限りのサポートをさせていただきました。来年の医師国家試験においても新型コロナウイルスの状況によっては例年の形式の変更を余儀なくされる場合があるとは思いますが、さらにアップグレードしたより良いサポートができるように準備していこうと考えております。また、国家試験期間中だけでなく、そこに至るまでの期間においても正しい情報や受験生にとって有益な情報を取捨選択して提供し、少しでも受験生の不安を払拭して安心した状態で国家試験を迎えられるように支援していきます。

現在、宮崎大学医学部の教務委員会の先生方

を中心に、十分に知識を確保して国家試験に臨めるように5・6年生の進級試験や卒業試験の見直し、コロナ対策に関しての話し合いが頻繁に行われています。また、今年度も医学部同窓会である篠懸会から外部模試の負担をしていただくなど、多くの方々から支援をいただいております。先生方や先輩方からの支援を無駄にしないよう、そして最大限に活用できるように大学との意見交換を進め、活動していきます。

宮崎大学医学部の学生の国家試験の結果は、大学の関係者や地域の方々、宮崎県全体から大きく期待されていることと思います。その期待に応えることができるように、これからも精進してまいります。昨年同様、大学や受験生にはいろいろとご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、よりよい活動を目指していきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



2月6日国試対策委員集合写真



昨年度の国対幹部（現6年生）

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
3月15日	<ul style="list-style-type: none"> 抗PD-1 抗体抗悪性腫瘍剤（キイトルーダ点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について 「重篤副作用疾患別対応マニュアル」のホームページ掲載について 国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） 令和4年度介護報酬改定（介護職員の処遇改善）に関する諮問等について バリアフリートイレに設置する呼出しボタン等の整備不良について 学校における感染症対策について、この時期に特に留意いただきたい事項について（情報提供） 第20回健康づくりセミナー開催方式の変更及びオンデマンド配信のご案内 令和3年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業に係るQ&A集（追加）の送付について 5歳以上11歳以下の者を対象とした新型コロナワクチン接種後の健康状況に関する調査について 新型コロナウイルス感染症に係る県の対応の周知について（依頼） 事務所衛生基準規則の一部を改正する省令の施行等について（周知依頼） 指定難病・小児慢性特定疾病データベースの更改内容に関する情報提供について
3月16日	<ul style="list-style-type: none"> 「日本医師会生涯教育カリキュラム〈2016〉」一部改訂について
3月18日	<ul style="list-style-type: none"> 風しんの抗体検査及び風しんの第5期の定期接種に係る変更契約書について 観光庁 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業の説明会について 「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンに関する予防接種後健康状況調査の実施について」の一部改正について 12歳以上17歳以下の者への新型コロナワクチンの3回目接種に向けた接種体制の準備について 融雪出水期における防災態勢の強化について 病院における医療情報システムのバックアップデータ及びリモートゲートウェイ装置に係る調査について（再周知依頼） 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の一部改正について 公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて 「不妊治療に係る診療報酬上の取扱いについて」の送付について 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その68） 国民健康保険被保険者証を無効とすることについて（通知） 令和4年福島県沖を震源とする地震にかかる災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて
3月22日	<ul style="list-style-type: none"> 旧優生保護法一時金支給法第21条に基づく国会調査に対する協力依頼について 令和4年福島県沖を震源とする地震による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について 新型コロナウイルス感染症の検査に係る診療報酬点数の見直しについて 新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その100）」の送付について

送付日	文 書 名
3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・『「令和3年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業」の改正について』の改正について ・高齢者施設等における施設内療養に関する更なる追加的支援策の延長について ・医療従事者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について ・介護従事者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について ・「要介護認定等の実施について」の一部改正について ・オミクロン株の特性を踏まえた保健・医療提供体制の対策徹底を踏まえた対応について ・HPVワクチンのキャッチアップ接種の実施等について ・令和4年福島沖を震源とする地震を受けたオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和4年福島県沖を震源とする地震による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第5.1版）」について ・抗原定性検査キットの供給に係る優先付け措置等の終了について ・B.1.1.529系統（オミクロン株）が主流である間の当該株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について ・新型コロナウイルス感染症に係る医療機関受診時等の公費負担の取り扱いについて ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正） ・小児の新型コロナワクチンの接種に使用するファイザー社ワクチンの配分等について（その2） ・新型コロナウイルス感染症に係る経口抗ウイルス薬（パキロピッドパック）について ・「オミクロン株が主流である間の当該株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施に伴う学校に関する対応について」等の周知について ・「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正について ・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について ・「介護職員処遇改善加算及び介護職員等特定処遇改善加算に関する基本的考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の終了等に関する周知依頼について ・令和4年度診療報酬改定に係る告示、通知のご案内について（3月18日付け） ・「押印を求める手続の見直し等のための関係規則の一部を改正する規則」の公布及び施行並びにそれに伴う「医療法施行細則」の取扱いについて（通知） ・医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスの一部改正について（通知）
3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・第49回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の開催について（通知） ・不育症検査費用助成事業の実施について ・令和3年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業に係るQ&A集（追加）の送付について（令和4年3月18日追加） ・院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）に係る参加医療機関の追加募集について ・障害者支援施設等の従事者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について ・NBCR対策推進機構 第1回「医療従事者・歯科医療者・消防職員等のための複合災害対策講習会」の開催について ・「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」がんに関する留意事項の統計等データの更新について ・HPVワクチンのキャッチアップ接種の実施に伴う関係通知について

送付日	文 書 名
3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故調査・支援センター2021年年報の公表について ・「新たに薬事・食品衛生審議会において公知申請に関する事前評価を受けた医薬品の適応外使用について」の一部訂正について ・令和4年度診療報酬改定に係る告示、通知のご案内について（3月25日付け） ・「使用上の注意」の改訂について ・令和2年7月豪雨による被災に伴う保険診療の特例措置に関する取扱いについて ・「介護職員処遇改善支援補助金に関するQ&A（Vol.3）（令和4年3月23日）」の送付について ・職場における積極的な検査等の実施手順に関するQ&Aについて（周知依頼） ・新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）の体制確保について ・新型コロナウイルス感染症の検査体制の強化について ・離島等の診療所における医師及び薬剤師不在時の医薬品提供の考え方について ・医療用医薬品の供給不足解消に向けた取り組みについて ・令和4年福島沖を震源とする地震を受けたオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」のアクティブ化終了について ・高齢者施設等の従事者等に対する検査の実施について ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（7.1版） ・「指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準等の制定に伴う介護給付費算定に係る体制等に関する届出における留意点について」等の一部改正について
4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等における公正な採用選考の実現に向けて（要請） ・宮崎県HPVワクチン接種後有症状時 相談体制・医療体制について ・「小児慢性特定疾病指定医の指定について」及び「小児慢性特定疾病医療支援の給付に係る公費負担者番号及び受給者番号の設定について」の一部改正について ・介護予防・日常生活支援総合事業の指定に関する様式例について ・令和3年度 全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料について ・黄熱の予防接種実施機関の指定について ・遷延する症状を訴える方に対応する診療体制の構築について ・HPVワクチンのキャッチアップ接種に関するリーフレットについて ・医療用医薬品の供給不足解消に向けた製薬団体の取り組みについて ・地域医療構想の進め方について ・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る研修会の動画配信と診療マニュアルについて ・原子力規制委員会「放射線障害予防規定に定めるべき事項に関するガイド」について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲプリオカプセル）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正） ・令和4年度地域支援事業実施要綱の改正点についておよび地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の上限制度の運用について ・看護学生実習の国民向けPRポスター及びリーフレットについて（周知依頼） ・「保健師助産師看護師国家試験出題基準」の改定について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その69） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その101）」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その1）」の送付について ・令和4年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・「医師法施行令の一部を改正する政令」の公布について（通知） ・医療事故情報収集等事業第68回報告書の公表について ・医療事故の再発防止に向けた提言第16号の公表について ・医薬関係者からの医薬品、医療機器、再生医療等製品、医薬部外品及び化粧品の副作用、感染症及び不具合報告の実施要領について

送付日	文 書 名
4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・「保険医療機関等電子申請・届出等システム」の運用について ・みやざきオレンジドクターの登録について（通知） ・NBCR対策推進機構 第2回「新型コロナウイルス対策から学ぶ感染症対策講習会」の開催について（再依頼） ・新型コロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン（SARS-CoV-2）に係る「使用上の注意」の改訂について ・認知症サポート医の一覧について（通知） ・医療法施行規則の一部を改正する省令の公布について（手で保持して使用する口内法撮影用エックス線装置に関する改正）
4月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」の一部改正について ・独立行政法人福祉医療機構の一般診療所（無床）等への融資基準となる令和4年度診療所数調について ・日本医師会会費減免の手続き及び会費減免をうけるA①, A② (B), A② (C) 会員の医賠償保険加入の手続きについて ・令和4年度日本医師会会費徴収について ・病床機能報告制度に関する電子レセプトへの病棟情報の記録漏れに対する注意喚起等の措置について ・地域医療構想の進め方について ・B型肝炎ワクチンの供給見込みについて ・予防接種法施行令の一部を改正する政令及び新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済に関する特別措置法施行令の一部を改正する政令の施行について ・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（質疑応答集の追加等） ・国民年金・厚生年金保険障害認定基準（肢体の障害関係の測定方法）の一部改正について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第7.1版」の周知について
4月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法施行規則の一部を改正する省令の公布について ・「医療法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について（通知） ・医療法施行令の一部を改正する政令等の施行について ・医療法施行規則等の一部を改正する省令の公布について（特別措置病室の基準等に関する改正） ・【日本医師会におけるウクライナ支援策】日本医師会医賠償保険付帯医療通訳サービスの拡充について ・再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則及び臨床研究法施行規則の一部を改正する省令の施行等について ・「薬局ヒヤリハット事例収集・分析事業 第26回報告書」の周知について ・経済構造実態調査の事前周知について ・仮名加工情報である医療情報のみを用いて行うAI画像診断機器等の開発・研究等への生命・医学系指針の適用等について ・後期高齢者医療における窓口負担割合の見直しに伴う診療報酬請求書等の記載要領の一部改正等について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・令和4年度労災診療費算定基準の一部改定について ・「保険医療機関が交付するアレルギー疾患に係る学校生活管理指導表の保険適用について」の送付について ・全国健康保険協会が実施する生活習慣病にかかる重症化予防事業の推進について（周知依頼） ・新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応を疑う症状に対応できる専門的な医療機関の名称等の公表について ・再編計画に係る不動産取得税の課税標準の特例措置について

送付日	文 書 名
4月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針の一部を改正する件について ・介護保険の給付対象となる福祉用具及び住宅改修の取扱いについて ・「児童福祉法第六条の二第一項の規定に基づき厚生労働大臣が定める小児慢性特定疾病及び同条第三項の規定に基づき当該小児慢性特定疾病ごとに厚生労働大臣が定める疾病の状態の程度（平成26年厚生労働省告示第475号）について（通知）」の一部改正について ・「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」の改訂についての送付について
4月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・治療と仕事の両立支援に関する診療報酬の改定について ・「使用上の注意」の改訂について ・医療機関の宿日直許可申請に関する相談窓口の設置について（周知依頼） ・令和4年度版死亡診断書（死体検案書）記入マニュアルについて ・医療法人による事業報告書等の届出，都道府県知事による事業報告書等の閲覧事務についての「医療法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について ・不妊治療で使用される医薬品の保険給付上の取扱いについて ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて（不妊治療薬） ・公知申請に係る事前評価が終了し，医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・フィブリノゲンHT 静注用1g「JB」等の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・最適使用推進ガイドライン関連通知の読替えに伴う留意事項通知の取扱いについて ・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤（オプジーボ点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・ヒト化抗ヒトIgEモノクローナル抗体製剤（ゾレア皮下注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・武田社ワクチン（ノバボックス）の接種体制の構築等について ・「有料老人ホームを対象とした指導の強化について」の送付について（情報提供） ・愛の予防接種助成事業補助金交付要綱の一部改正について（通知） ・「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いに関するQ&A」の改定について（その2） ・第53回全国学校保健・学校医大会の開催について ・アレルギー疾患を有する者又はその家族に対する治療と仕事の両立支援について（依頼） ・オンライン服薬指導における処方箋の取扱いについて ・「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」の一部の施行等について（通知） ・科学的介護情報システム（LIFE）の受託事業者変更に伴うお問い合わせフォーム等の一部機能の停止及び今後の対応について ・「令和4年度（令和3年度からの繰越分）介護職員処遇改善支援事業の実施について」の周知及びコールセンターの終了について ・VRSタブレットに送付される詐欺等につながる恐れがあるメッセージについて（注意喚起） ・令和4年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業の実施について
4月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命を見つめるフォト&エッセー」（フォト部門）作品パネル貸し出しについて ・新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置並びに関連する助成金及び特別相談窓口の期限延長に関する周知への御協力について（依頼） ・「医療法人における事業報告書等の様式について」の一部改正について ・医療法施行規則等の一部を改正する省令の公布について

送付日	文 書 名
4月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・「広告が可能な医師等の専門性に関する資格名等について」の一部改正について ・令和2・3年度 医療政策会議報告書について ・「社会医療法人の認定について」の一部改正について — 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う救急医療等確保事業に係る業務の実績に係る要件の特例 — ・プラスチック資源循環促進法の施行に伴う取組について（排出事業者のプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制及び再資源化等の促進に関する判断の基準の手引き） ・「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンに関する予防接種後健康状況調査の実施について」の一部改正について ・黄熱の予防接種実施機関の指定について ・新型コロナワクチン接種後の副反応（急性期を除く。）を疑う症状に対応する診療体制の再周知について ・「令和4年度診療報酬改定を踏まえた医療的ケア児に関わる主治医と学校医等との連携等について（周知）」の送付について ・オミクロン株の特性を踏まえた保健・医療提供体制の対策徹底を踏まえた対応について（高齢者施設等における医療支援の更なる強化等）の考え方について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・第53回全国学校保健・学校医大会「分科会」における研究発表の演題募集について（ご依頼） ・高齢者施設等における施設内療養に関する更なる追加的支援策の対象拡大及び期間延長について（「令和4年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所のサービス提供体制確保事業の実施について」の一部改正について） ・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）について ・「介護保険施設等の指導監督について（通知）」等について
4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府「地区防災計画フォーラム2022」のアーカイブ動画の公開について ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・活用の手引きの改定等について ・再編計画に係る不動産取得税の課税標準の特例措置について ・ポリオ生ワクチン2次感染対策事業実施細則の一部改正について ・ゴールデンウィーク等の連休時の保健・医療提供体制の確保について ・「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第5.2版」の策定について
4月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活用具（人工呼吸器用自家発電機・外部バッテリー）の取り扱いについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その4）」の送付について ・「ヒト受精卵に遺伝情報改変技術等を用いる研究に関する倫理指針」及び「ヒト受精卵の作成を行う生殖補助医療に関する倫理指針」の一部改正について
4月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・「保険医療機関等電子申請・届出等システム」の運用について（第2報） ・「アダルトビデオ」出演強要問題緊急対策パッケージに関する周知について ・HPVワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアルの公開について ・ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業の実施機関の決定について ・新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所、養成施設の対応及び実習施設への周知事項について ・「介護医療院開設に向けたハンドブック」等の更新及び掲載ホームページアドレスの変更について（周知依頼） ・「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等における精度管理マニュアル」について ・精神科救急医療体制整備事業の実施について



あとかき



本年度から2年間、日州医事広報委員長を務めさせていただくことになりました。歴代の名委員長に恥じないように努力していきたいと思ひます。思えばS先生の紹介で広報委員に入れていただいてから6年の歳月がたちました。2歳だったひとり娘はもうすぐ9歳になります。自分もあつという間に50代、若先生と呼ばれる患者さんに少し照れるようになりました。6年前には思ひもよらなかったCOVID-19の出現で2年以上、広報委員会の肝である、医学部学生やさまざまな診療科の若手、中堅、重鎮の医師、事務方、マスコミ関係者等との密な交流、そして何より楽しみの飲み会がなくなってしまいました。終息の道は見えず、世の流れはコロナとの共存になっていくでしょう。私の代で飲み会を復活させることがとりあえずの悲願です。世界に目を向けるとそれなりに平和だった時代は流れ、今や世界で権威主義国の台頭があり、同時に我が国の国力低下がとまりません。自分自身の人生も折り返し付近でしょう。これから時代がどう流れるかは分かりません。「何でもないようなことが〜幸せだったと思〜(ふるっ!)」という歌の一節があります。世のため、人のため、家族のため、そして自分のために1日1日を大切に生きたいと思ひます。(稲倉)

* * *

先日車を修理に出した際に代車が無いとのことだったので、クリニックまで歩いて通勤し始めました。もともと歩いて通えない距離ではないのですが、車が必要なことが多かったため自動車通勤していました。日常の診療で看護師さんたちは走り回っていますが、私は歩くことが少ないため、いい運動になっているようです。コロナ禍で講演会や会議などがZoomになってクリニックから参加できるので、しばらく歩くことを続けてみようかと思ひています。

(高橋)

* * *

新年度を迎え、新しい環境で戸惑っている人がいるかと思ひます。私も新米のころ、採血ができず看護師に冷たい態度をとられたことがあります。つらいですね。自分は大めだなあと思ひている時、その時は成長しているときです。最初からできる人なんていません。どんな偉い人でも初心者ころがあり迷惑をかけてきたのです。大丈夫です。周りの人は暖かく見守ってあげてください。困っている人に手を差し伸べれる人になりたいですね。(石田)

* * *

今期より日州医事の編集に携わらせていただくことになりました。何事も新しいことにチャレンジするのは、自分にとって新たな世界を開くチャンスであると感じています。4月・5月は、生活・仕事のうえで「新しいこと」に出会う方が多いと思ひますが、私自身も一つひとつの「新しいこと」を楽しみながらこの春を過ごしていこうと思ひています。今後ともよろしくお願ひいたします。(早川)

本年度から2年間、日州医事広報委員長を務めさせていただくことになりました。歴代の名委員長に恥じないように努力していきたいと思ひます。思えばS先生の紹介で広報委員に入れていただいてから6年の歳月がたちました。2歳だったひとり娘はもうすぐ9歳になります。自分もあつという間に50代、若先生と呼ばれる患者さんに少し照れるようになりました。6年前には思ひもよらなかったCOVID-19の出現で2年以上、広報委員会の肝である、医学部学生やさまざまな診療科の若手、中堅、重鎮の医師、事務方、マスコミ関係者等との密な交流、そして何より楽しみの飲み会がなくなってしまいました。終息の道は見えず、世の流れはコロナとの共存になっていくでしょう。私の代で飲み会を復活させることがとりあえずの悲願です。世界に目を向けるとそれなりに平和だった時代は流れ、今や世界で権威主義国の台頭があり、同時に我が国の国力低下がとまりません。自分自身の人生も折り返し付近でしょう。これから時代がどう流れるかは分かりません。「何でもないようなことが〜幸せだったと思〜(ふるっ!)」という歌の一節があります。世のため、人のため、家族のため、そして自分のために1日1日を大切に生きたいと思ひます。(稲倉)

2週間、田野病院で地域実習をさせていただきました。先生ご指導のもと、問診や診察をしたり、検査のオーダーの仕方や紹介状の書き方を教えていただいて、普段の大学病院での実習ではなかなかできない経験をする事ができました。また、患者さんとの関わりも多く、患者さんの生活背景まで考えた医療が大事であることを改めて感じる機会となりました。次の実習先でも自分から進んで行動していきたいです。(安藤)

* * *

このたび、宮崎県医師会の広報委員会の委員となりました。宮崎大学医学部4年の鍛冶川雄登と申します。校正の仕事ということで、今まであまり馴染みのない仕事で少し不安ではありますが精一杯務めさせていただきます。第一回広報委員会に参加させていただきましたが、周りの委員の方は宮崎県で働かれる医師の方々に、大学以外で医療現場で働く先生と接することが少ないため少し緊張しましたが、医療現場で働く先生方とお話できる貴重な場なので、楽しみにしつつ今後も校正の仕事に励んでいきたいと思ひます。経験が少なく拙い点もあるかと存じ上げますが、なにとぞよろしくお願ひいたします。(鍛冶川)

* * *

第7波に入り再び小児コロナ感染者が増えてきた。感染防御の上での診察・抗原検査をいかにスムーズに行い自らが感染しないように気をつけている。まずは子どもの家族も、コロナか否かを知りたいのが現状である。自らの感染防御のための診察時間短縮が、重要所見の見落としにつながるよう気をつけなければならない。(高木)

* * *

第7波に入り再び小児コロナ感染者が増えてきた。感染防御の上での診察・抗原検査をいかにスムーズに行い自らが感染しないように気をつけている。まずは子どもの家族も、コロナか否かを知りたいのが現状である。自らの感染防御のための診察時間短縮が、重要所見の見落としにつながるよう気をつけなければならない。(高木)

今月のトピックス

日州医談 日本医師会 第1回未来医師ビジョン委員会に参加して

全国から選出された若手医師17人が日本医師会長からの諮問に対して議論検討、答申を作成する委員会に参加されたそうです。Web開催における利点と欠点について激しく同意です。今後も大塚康二朗先生に医師会を導いていただけることを期待します。

4 ページ

身近なお困りごと相談室 第7回 スタッフの不祥事に対する損害賠償請求について

小さなクリニックとはいえ十数人のスタッフを抱えています。開院13年になりますが当初から人事が1番の悩みです。特に「労働者のミスに対する賠償損害と給与を相殺するケースは違法となる可能性が極めて高い」とのこと、勉強になります。

9 ページ

診療メモ 泌尿器科におけるロボット支援下手術の現状

ロボット支援下手術について黒岩顕太郎先生に教えていただきました。泌尿器科学の歴史は1879年にMax Nitzeが膀胱鏡を完成した時点より始まったこともあり、内視鏡手術において他科に先んじて導入されてきた歴史があります。ダ・ビンチも2012年に前立腺全摘術以降、現在、多くの疾患にロボット支援下手術が用いられていると知り勉強になりました。

50ページ

宮大医学部学生のページ 2021年度国家試験の結果報告と課題

国試対策委員長の阿萬樹生さんより第116回医師国家試験の宮崎大学と全国平均の合格率の比較についてやや低いとの報告でした。すでに30年前のこととなりますが、“無理だ、どー考えても間に合わない”と唸りながら勉強していた日々が思い出されます。

52ページ

日 州 医 事 第873号(令和4年5月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,

長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 平井 昂也, 安藤菜々子, 鍛治川雄登, 山本 樹

担当副会長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)